

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：8/31～9/4

・ 8/31(月)

総裁選の動き、党員投票、石破氏がスタジオに出演、合流新党の経済対策などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、総裁選の動き、石破氏がスタジオに出演、合流新党の経済対策については他の放送日とあわせての判断が必要と考えられるものでした。また、石破氏がスタジオに出演については検証者の所感を記しました。

・ 9/1(火)

総裁選に向けた動き、岸田文雄スタジオに出演、総裁選の投票方法、香港の民主派への弾圧、モーリシャス沖事件、立憲や国民などの合流新党の結党大会を一日前倒しなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、総裁選に向けた動きおよび岸田文雄スタジオに出演、立憲や国民などの合流新党の結党大会を一日前倒しなどについては他の放送日とあわせての判断が必要と考えられるものでした。また、岸田文雄スタジオに出演については検証者の所感を記しました。

・ 9/2(水)

自民党総裁選、「コロナ禍は戦争で」との発言の教育長が辞任へ、LA でも黒人男性が警官に撃たれ死亡、テレ朝が BPO 違反、コロナウィルスのワクチン、中国の核、ナワリヌイ氏に使用された毒物が判明などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、自民党総裁選については他の放送日とのあわせての判断が必要と考えられるものでした。また、LA でも黒人男性が警官に撃たれ死亡については放送法上問題が見られました。

・ 9/3(木)

菅官房長官生出演、自民党総裁選、ユニセフの子供調査、大阪都構想などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、菅官房長官生出演および自民党総裁選については他の放送日とのあわせての判断が必要と考えられるものでした。また、菅官房長官生出演については検証者の所感を記しました。

・ 9/4(金)

五輪とワクチン、自民党総裁選、核のゴミ、合流新党代表選挙などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、自民党総裁選については他の放送日とあわせて判断する必要があるものでした。また、合流新党代表選挙については放送法に照らして問題とされるものでした。なお、合流新党代表選挙については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年8月31日
出演者：星浩、山本恵里伽、田村真子、村瀬健介、石井大裕 石破茂（自民党元幹事長）		
検証テーマ：総裁選の動き、党員投票、石破氏がスタジオに出演、合流新党の経済対策		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「非常に強い」台風9号が沖縄に接近 ・総裁選の動き ・党員投票 ・石破氏がスタジオに出演 ・合流新党の経済対策 ・としまえん閉園セレモニー ・ベラルーシで10万人規模のデモで140人が拘束 ・スポーツ報道 ・東京の新規感染者が100人 ・アメリカの累計感染者が600万人突破 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総裁選の動き：結論→他の放送日とのあわせての判断が必要 <p>山本恵里伽「ポスト安倍に向けた動きが加速してます、後ほど候補の一人でいらっしゃる石破元幹事長にスタジオでお話を伺いますが、まずは最新の動きからです。今夜になって、安倍総理が所属する最大派閥の細田派が菅官房長官を支持する方針を固めました。菅長官、次の総理総裁への座がぐっと近づいています。」</p> <p>ナレ「表情を崩さないまま官邸に入る菅義偉官房長官、今何を思うのでしょうか。」</p> <p>村瀬健介（報告）「今まさにこの時間、こちらの議員会館で菅長官を支持する議員たちが集まって総裁選への対応を話し合っています。」</p> <p>ナレ「昼過ぎ、菅官房長官に近い無派閥の有志議員が会合を開催。菅氏に総裁選への出馬を要請することを決めました。」</p> <p>坂井学（菅グループ）「夕方の五時半に菅先生の会館のお部屋にみんなでお邪魔をしようということになりました。午後五時、有志議員が集まっていました。」</p> <p>村瀬健介「今、このタイミングで菅長官が総理として相応しいというふうに考えられる理由はどういうところですか。」</p> <p>秋本真利（菅グループ）「コロナという大変なさなかにある中で安定的にこの国を運営していく必要がある中では一番菅長官が相応しいと私はこう思っています。」</p> <p>ナレ「近い存在からなのか、菅氏のこんな一面も。」</p> <p>三谷英弘（菅グループ）「最近はやっているインターネットとかの動画とかを見て一緒になって『すげーな、これ！』みたいな感じで喜んだり大笑いしているっていうのは。」</p>		

村瀬健介「我々としては強面のイメージしかないんですけどね。」

ナレ「このあと、菅氏と面会し、直接出馬を要請、菅うじは前向きに検討したいという考えを示したと言います。今やポスト安倍有力候補となった菅氏、いつものようにここな割れた午前中の会見では。」

菅義偉（官房長官）「この場は政府としての見解をご説明する場でありますので（総裁選について）コメントは差し控えたいと思います。」

ナレ「政権の中核で7年8ヶ月に渡り安倍総理を支えてきた菅氏、総裁選への出馬の可能性については一貫して否定してきました。しかし。」

松尾一志（報告）「二階幹事長が菅官房長官との会食を終えて出てきました。」

ナレ「菅氏はここ数ヶ月水面下で自民党の二階幹事長との会談を重ねてきました。そしてこの週末、二階幹事長に総裁選挙に出馬する意向を伝えました。」

"記者「二階派としては菅官房長官を推す流れになりそうですか。」

河村建夫（自民党二階派、元官房長官）「空気としてはそういう空気が生まれてきつつあるんじゃないのかと思いますけどね。」

ナレ「今日、二階氏は。」

記者「一昨日の夜に菅長官と幹事長が会われたという報道がされていますけれどもどんなお話をされたんでしょうか。」

二階俊博（自民党幹事長）「そりゃまあ今後、お互いにこの事態でしっかり頑張ろうと、こういうことです。」

ナレ「既に二階派は菅氏支援の方針を固めており、菅氏は総裁選の日程が決まる明日、正式に出馬表明する見通しです。菅長官を押す動きは他の派閥にも広がっています。」

村瀬健介「今、自民党本部の一室に続々と政治記者たちが入っていってきますけれど、今まさにこの部屋で自民党の最大派閥、細田派の会合が始まるんです。」

ナレ「安倍総理の出身母体で党内最大派閥である細田派、所属する議員は菅氏について。」

松島みどり（自民党細田派衆院議員）「軟着陸という形を取ることは政治の安定にとって言い、そういう意味では菅さんは官房長官は極めて相応しい方ではないかと思えます。」

高鳥修一（自民党細田派衆院議員）「安倍政権の中で支えてこられた中華買うでありますし、今その政権の継続性とか、コロナのですね、危機的な対応の中で安定感はあると思えます。」

ナレ「今夜、細田派は幹部会合を開き、菅氏を支持する方針を固めました。」

党内第二派閥の麻生派にも動きがありました。午後三次頃、麻生副総理は総裁選への出馬が取り沙汰されている河野防衛大臣と会談。麻生派は菅氏を支援する見通しとなっていて、麻生氏は総裁選出馬を自重するよう河野氏に求めたということです。

"党内で徐々に広がっていく菅氏の支持、一方で国民はどう見ているのでしょうか。"

市民A「国民の感情が汲まれた次の総裁選びなのかっていうのが疑問を感じないわけではないですよ、ただ一方で、菅さんって、なんか芯がありそうなので、自分の芯をもうちょっと強く出してくれるんだったら、応援してもいいかなあと言う気はします。」

市民B「うやむやになっている問題がいっぱいあるのにそれをカバーしてきたのだ菅さんで、私このままじゃおかしいと思っています、常に防波堤になっていた人がここに来てみんなに押されたから出る、っていうのはあま

・ 党員投票：結論→特に問題なし

自民党総裁選での党員投票を巡る動きについて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「その党員投票を巡ってある動きが。今日、若手議員融資が二階幹事長に署名を提出しました。求めているのは開かれた総裁選、全ての自民党員が投票できる総裁選です。署名をした一人、牧原秀樹衆議院議員は。」

牧原秀樹（自民党谷垣グループ衆議院議員）「国民の皆様にとって、開かれた形で、透明で公正な決定プロセスが必要だと思います。」

ナレ「この署名への賛同は広がりを見せていると言います。発起人の一人、小林史明青年局長は。」 "

小林史明（自民党岸田派青年局長）「現時点で国会議員が 145 名、都道府県連、全国の実は議員有志、党員有志からも署名が届いていまして、22 都道府県、そして 400 名を超えるお名前を頂いております。」

"ナレ「自民党の党則は総裁選は国会銀による 394 票とその同数の 394 ヒヨ 0 宇賀党員などに割り当てられその合計で争われることになっています、ただ、任期途中の辞任などの緊急の際には両院議員総会での選出が可能で、党員投票を省くことができます。その場合、地方から投票に参加できるのは各都道府県連の代表者 3 人ずつ、47 都道府県に割り当てられるのは 141 票に減り、地方票に強いとされる石破氏に不利となります。二階幹事長はこの両院議員総会で新総裁を決める方針で明日の総務会で最終的な決定を行う予定です。」

二階俊博（自民党幹事長）「両院議員総会に地方の代表も参加しますから、党員のご意見は承ったということに致しますし。」 "

"ナレ「これに反発し、党員投票を求める署名を二階幹事長に提出した自民党の小林青年局長、昨日その姿は福島郡山市に、向かった先は自民党員らが集まる政治塾です。党員の間でも総裁選への関心が高まっています。」

参加者 A「総裁選の期間って党員投票を踏まえる場合ってどのくらいの期間があるんですか。」

小林史明「基本、正式にやるとだいたい 4 週間くらい、」

ナレ「小林議員は党員投票を経て選ばれたリーダーでなければ納得感を持って政治を前にすすめることはできないと訴えました。」 "

"小林史明「政権与党の総裁を選ぶということは日本の総理を選ぶということですから国民全体と自民党がどう向き合っているのか、政治が向き合っていくのかということですから。」

ナレ「参加者からも頭囲投票を求める声が。」

自民党員 A「党員投票になると、その時間ができた時に国民の中で議論ができるではないですか。永田町の方とか、あと霞ヶ関の温度差と、私たちの地方のみんなでも苦しんでいる地域差が感覚があんまりにも離れすぎているので。」

ナレ「しかし、党の執行部は党員投票を行わない方針です。小林議員は密室政治だと強く反発しています。」

小林史明「過去もですね、そのような密室政治をやった結果、強いリーダーが生まれず、そして政治力を発揮できない、結果として国民の皆さんにご迷惑をかけたという歴史があります。しっかり意見をお伝えして理解を求めてきます、これは絶対譲れないことだと思います。」 "

"ナレ「党員投票を求める声は各地で上がっています。」

中山泰秀（自民党細田派衆議院議員）「安倍さんのポスターの横に『総力結集』というこういうポスターが掲げられているんです。」

ナレ「中山泰秀衆議院議員が指摘したのは党本部の幹事長室前の廊下に掲げられた総力結集というポスターです、

二階幹事長も度々取材に応じる場所ですが。」

中山泰秀「総力結集って党本部で掲げているんだったら、総力結集させてみろっていうんですよ。」

ナレ「地方組織からも声が。」

土屋隆典（自民党神奈川県連）「その党员から総裁選への投票の権利を奪うということはあってはならないことだと、思います。開かれた総裁選挙であるべきだ、党员の声を吸い上げるべきだ。」

ナレ「神奈川県連など党员投票を要望する動きが相次いでいます。緊急を要するために党员投票は行わないという党の方針に、現職の閣僚からも。」

小泉進次郎（環境相）「全く嘘ですよ、だって空白生まれてないんだから、今総理いますよ、辞意表明はしたけれども総理は総理の職務をこなしていて、私も環境大臣です、で、各閣僚は今安倍内閣で仕事をしているんです。空白はないんですよ。」

このトピックについて当てられた時間は 374 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・石破氏がスタジオに出演：結論→他の放送日との比較が必要

石破氏がスタジオに生出演して、以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

"山本恵里伽「ここからは自民党元幹事長で今回の総裁選に出馬されるのかされないのか、注目されている石破さんにお話伺ってまいります、よろしく願いいたします。ではまずはですね、自民党の総裁選をめぐる 2 つの方式についてです、村瀬さんお願いします。」

村瀬健介「はい、その 2 つの方式少し整理してみたいと思いますけれども、まずはこちら党员投票を行う方式なんですけれども、こちらの場合ですと党大会を開きまして国会議員表と党员、党友票、同数で争われることとなります。こちらが原則なんですけれども、ただ緊急の場合はですね党员投票は省きまして、両院議員総会で総裁を選ぶことができるとされています、ただこちらの場合ですと地方の声は相対的に小さくなりまして、国会議員票のウェートが高くなるということになります。」

山本恵里伽「現時点で出馬の可能性がある有力候補、それぞれどういった票が入るのかということをごちらにまとめてみました。派閥ごとの投票先なんです、菅官房長官には無派閥の菅グループ、そして二階派、細田派、麻生派。石破さんには石破派、岸田さんには岸田派というふうに見られています、一方で竹下派や無派閥は今後どこに動くのかというのが今後注目と言うところになりますね。」

"星浩「まああの、派閥と言ってもね、昔その石破さんが所属されていた田中派みたいに、もう完全にその一致結束という動きではありませんし、今回も細田派とか麻生派の中には何人か溢れるケースというのも出てくると思われますし、このへんはまだ流動的というふうに見ていたほうがいいと思いますね。」

山本恵里伽「分かれる可能性が十分考えられるというところなんですかね、まだまだ動きわからないところではありますけれども、石破さん、単刀直入に伺いますが、今回の総裁選出馬されますか。」

"石破茂（自民党元幹事長）「うん、それは明日ルールが決まる、それを見て、私は自分にとってね、不利だからやらないって判断はしないですよ、ただどういうルールになるのかを見て、本当に苦しい時ずっと一緒にやってきた政策グループ、世に言う派閥の仲間と協議をして了承いただけたら、それは出馬ということになりますね。」

山本恵里伽「なるほど。」

星浩「これは、なんか我々が入手した、石破さんの明日の出馬の時に表明されるパンフレットの表紙らしいのですけれども、ここまで出来ていればもう後には引けない。」

石破茂「どっからそんなのが。」

星浩「いやいやいや。」

石破茂「いや、ただだね、それはね、常にあらゆる可能性を想定して準備はしておかなければいけないよね、準備間に合いませんでした、パンフレットもできていません。政策も伝わりません、でも一票入れてね、そんなわけにはいかんでしょ、常にあらゆる可能性を想定して準備する、で、我々は政策集団ですから常に政策を議論して練り上げてきた、いつあってもいいように準備をしておくのは政策集団の国民に対する責務ですよ。」

山本恵里伽「先程もし不利になっても出ないというふうな選択肢は考えられない、とおっしゃいましたけれどもそれは出馬されるという認識でよろしいのでしょうか。」

石破茂「まあそういう受け止め方でそう、大差はない。」

山本恵里伽「大差はない。」

石破茂「いや、だからね、それはね、さっきから言っているように、本当に同志の皆さん方から一任は頂いています、でもこういう決断をしたんだということをそういう皆さん方にお伝えをして、よし、ということ言ってもらわないと、それは自分だけでできるわけじゃないから、大勢の人が苦勞しながらやることですから。」

山本恵里伽「わかりました。でこちらちょっと移りたいと思いますけれども。この表だけを見てもやっぱりこう、菅官房長官の方に大きな流れがきているのかなというふうに見えるんですけども、これに関して石破さんはどのように感じていらっしゃいますか。」

石破茂「多いなあ、と。」

山本恵里伽「多いなあ、と。それでも出馬される意向というふうに私たちは認識しているんですけどもかわりはないですか。」

石破茂「ですからね、ですから、我々は国民政党なんですよ、いろんな考えがあるんですよ、じゃあコロナ、じゃあ外交、じゃあ社会保障。じゃあ安全保障、こんな考え方がありますよ、ということを党員の前に、ひいては国民の前に提示をするというのはそれは大事なことじゃないですか、で、多いなあと先ほど申し上げたけれども、どういう政策を長官が提示されるのか、あるひは政調会長が提示をされるのかそれは違うんでしょうよ、一緒だったら選挙やる意味ないんだから、どこが違うんだろうか、そして自民党総裁は総理大臣ですから、それが国の政策になってくわけだね、それを示すというのが大事なことじゃないんですか、そして有権者の方が判断する、自民党は20人の国会議員の推薦がなければ出られないんです。逆に言えば20人推薦人があれば出られる、やっぱりそういうふうに自民党っていうのは仕組みを作っている、今、自民党が国民に対して果たすべき責任は何かっていうことを虚心坦懐に考えたいですね。」

"山本恵里伽「これから注目されるわけですけども、総裁選の方式を巡って今日、動きがあったんですよ。」

村瀬健介「はい、現在自民党で検討されているのはこちらの党員投票を行わない方式なんですけれども、この方式に対する反発が今日、出てきています。まずはですね、党員投票を行うべきだという国会議員ら145人が署名を集めまして幹事長に提出しました。さらに、こちら。神奈川や大阪など少なくとも9つの府県連が党員投票を行うよう、要望書を提出しているんです。」

山本恵里伽「こうした動きはこの選挙戦の構図に影響してきますね。」

星浩「そうですね、先程の派閥の表を見ますとね、これにその少なくとも議員投票はなしでも地方の票が 141 票ありますからそれがどこかにいくかでかなりこう、勝敗が分かれていますし、加えてですね、若手議員が求めているように議員投票を行えば 394 票の票がどんと乗ってきますので。」

山本恵里伽「どんと。」

星浩「これは国会議員と同じ比率ですので本当に勝敗は混沌としてくるということですので、ルールと勝敗そのものはまさに一体となっていると見ていいと思いますね。」

山本恵里伽「石破さんとしてはこうした派閥の票というのはどういうふうに分かるか、自分の方にも抵抗かなど、切り崩していこうかなというふうにお考えですか。」

石破茂「それはいろんな個人的なつながりもあるでしょうよ、と同時に、本当にコロナに対してどうするんだ、今の継続だっという考え方もあるでしょう、それもそうなんだがきちんとした司令塔機能を持った CDC、そういうものをきちんと作ろうとかあるいは PCR を拡大していくためにはどうしても保健所の数がここ 2,30 年で半分に減っちゃったんですよね、そうするとその機能を高めるためにもっと保健所の機能を強化しなきゃいけないんじゃないか、あるいはいろんな行動の制限を今はお願ひベースですよ、お願いしてるんだから補償はしないよって話なんだけど、これ強制力を伴うと当然補償しなきゃいけなくなりますよね、そういう事も考えなきゃいけないんじゃないか、例えばコロナでもいろんな考え方もある、あるいはこれだけ災害がしょっちゅう起こることになってきた、それに備えた私流に言えば防災省、そういう物が必要じゃないか、じゃあ敵基地攻撃能力が必要だ、いやその前にイージスアショアに変わるミサイル防衛のシステムを構築することが必要だ。いろんな考え方があるじゃないですか、どれを自民党としてやるべきか、一緒にやらないか、そうあるべきじゃないかと私思うんですね。」

山本恵里伽「このあとも引き続き石破元幹事長にお話を伺ってまいります。」

(CM)

山本恵里伽「引き続き石破元幹事長にお話を伺ってまいります、ここからはですね、この世論の声というのを見てみたいのですが、石破幹事長、誰が次期総理に首相に相応しいかということに関して 34.3%、菅官房長官のまあ 2 倍以上を占めているという形なんです。」

星浩「そこでね、おそらく多くの方も疑問だと思うんですが今回の自民党総裁選挙というのは国会議員を中心に自民党の議員も加わってやるんですけども、有権者全体で見ると石破さん、圧倒的に評判が高いんですけども、一方で国会議員の中で 19 人の派閥しかない、石破さん、これどういうふうに分かるか、自分の方にも抵抗かなど、切り崩していこうかなというふうにお考えですか。」

石破茂「うーん、不徳の致すところ。いや、ていうかね、あの私は自民党ってのは国会議員のためのものじゃないと思っているんです、そして自民党を支えていただいているのは 4000 円払って議員になっていただいている方、そして選挙の時に自民党に投票して下さっている方、そして自民党は政権党ですから、広く国民の方、そういう方のためのものだと思っているんですよ、それが国会議員の思惑と違うということなのかもしれない。だからその自民党は国会議員のためのものじゃないですよというそれは国会議員の方は面白くないのかもしれない。でも、みんな内心はそのことを思っていますよ、国民から選ばれた国会議員ですから、ですけども、やっぱりこう色んなポストについて、国のために国民のために仕事をしたい、じゃあ勝つ方についたほうがいいよね、という判断もそれは当然ありますよ。私だってそういう判断をしたことは昔ありますもの。」

星浩「しかしやっぱりその、世論とね、国会議員の意識のズレというのはこれはこの総裁選挙、ただすといいま

すかですね、修正をする非常にいい機会だと思うんですけども、そのへんはどういうふうに総裁選挙の位置付けは。」

石破茂「最終的にはね、我々衆議院議員の任期は来年の10月まで、そして再来年の7月には次の参議院選挙をやっていく、最終的には国民の方々が判断します、主権者の方々がね。そのときにね、今、投票率50%、半分くらいの方が参加していらっしやらない、でも自分たちが参加することで世の中変わるんだということもあるかもしれない。最終的には国民が主権者として判断されるということで、あんまり乖離があると国政選挙で厳しい審判を受けることになります。」

星浩「それからその総裁選挙のもう1つの役割派ですね、安倍政権のプラスマイナス、っていいですかね、良かった部分も悪かった部分も総括をするというのが一つ役割だと思うんですけど、その点ではやはり負の部分っていうと森友加計問題、それから桜を見る会の問題もあったと、そのへんをどういうふうに自民党として反省をしてですね新しい機軸を出していくのか、というのが一つ役割だと思うんですけどね。」

"山本恵里伽「はい、この森友問題に関しては近畿財務局の職員である赤木俊夫さんがなくなりました。その奥様が次に首相になる方は夫がなぜ自死に追い込まれたのか、公正中立な調査を実施していただきたい、このように仰っています、もし石破さんが次期総裁次期総理となった場合再調査はなされますか。」

石破茂「私は政権の中にいないからその調査が必要かどうか、もう一度ゼロベースで白紙から検討したいと思います。それはいま政権の中にいないので、いろんな状況が分かりません、そういう状況でやるとかやらないとか言えるだけの材料がない、もしなっただとしてそれはどういうことなのだろうか、それが例えば月刊誌に、週刊誌だったかな、手記が出ましたよね、そうするとそこで明らかになった事実があるかもしれない、私はあるように思うんだけどね、そのことについてどうなんだということを政府の中できちんと判断するそして奥様が言うておられるように公正中立な調査出なきゃいけないので、最初から結論ありきの調査ならやる必要ないんですね、どっちに有利とか不利じゃなくてやっぱりね、一人一人亡くなっているわけですよ、それはその方の人生を断ち切られた、ご家族の人生も大きく変わった、そのことに政府として責任を持たないでどうするんだということだとお見おますよ。」

山本恵里伽「ここまで石破元幹事長にお話をお伺いしました、お忙しい中ありがとうございました。」

このトピックについて当てられた時間は 859 秒だった。

他の有力候補をどのように取り上げるのかについて他の日の放送を待ち、総合的に判断する必要があると考えられる。

・合流新党の経済対策：結論→他の放送日とのあわせての判断が必要

田村キャスターによって「立憲民主党などによる合流新党の経済対策として消費税を一時的にゼロにする案が浮上しています。立憲民主党の枝野代表は会見で新型コロナウイルスや格差拡大を受け、思い切った対策が必要と指摘し、合流新党の家計への支援策として消費税を一時的にゼロにする案に言及しました。この他にも年収1000万円以下の人の所得税を免除、低所得層に一人あたり毎月1万円の定額給付金を支給との案も検討しています。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 40 秒だった。

今回は奇しくも自民党と合流新党という二大政党の党首選出が同時進行的に行われているが、自民党と合流新

NEWS23 週刊報告 詳細版

党はそれぞれどのように時間が当てられるのかということについては他の放送日とあわせての判断が必要だろう。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特に問題なし

検証者所感

- ・ 石破氏がスタジオに出演
石破氏はまだ立候補もしておらず、スタジオでも頑なに現地を取らせないように受け答えをしていたのに、TBS は石破氏を総裁選の候補として出演させており、随分と気が早いなぁと感じた。
また、折角の機会なのだから、正式に出馬表明したあの方がより深みのある話ができただろうかとおもうと、もったいなくも感じた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年8月1日
出演者：星浩、山本恵里伽、田村真子、村瀬健介、石井大裕 岸田文雄（自民党政調会長）		
検証テーマ：総裁選に向けた動き、岸田文雄スタジオに出演、総裁選の投票方法、香港の民主派への弾圧 モーリシャス沖事件、立憲や国民などの合流新党の結党大会を一日前倒し		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総裁選に向けた動き ・岸田文雄スタジオに出演 ・総裁選の投票方法 ・香港の民主派への弾圧 ・モーリシャス沖事件 ・長野市で70代男性をボウガンで殺そうとして疑いで20代女性を逮捕 ・スポーツ報道 ・立憲や国民などの合流新党の結党大会を一日前倒し ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総裁選に向けた動き：結論→他の放送日との比較が必要 <p>山本キャスターの「まずはですね、正式な出馬表明が相次いだ今日の動きからご覧ください。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p>村瀬健介（報告）「今、岸田政調会長、派閥の議員の拍手に迎えられて到着しました。これから総裁選挙への正式な出馬表明を行います。」</p> <p>ナレ「午後2時半、拍手で迎えられた岸田文雄政調会長、仲間の議員と拳を合わせるなど、笑顔を見せました。」</p> <p>岸田文雄（政調会長）「この度行われます、自民党の総裁選挙に正式に立候補することを表明いたします。」</p> <p>小林史明「岸田総裁誕生に向けて頑張ろう！頑張ろう！頑張ろう！」</p> <p>ナレ「昨夜遅く、一人の女性が上京しました。妻、裕子さんです。」</p> <p>裕子さん（岸田氏の妻）「主人も大変な状況になってますのでやっぱりちょっとここは応援に駆けつけなくてはと思いますので。」</p> <p>ナレ「夫のために用意した大量の荷物の中から見せてくれたのは。」</p> <p>裕子さん「ちょっとネクタイを持ってきました、赤の。」</p> <p>村瀬健介「勝負ネクタイですか。」</p> <p>裕子さん「そうですね、赤はやっぱりあの強い情熱とか、そういう強い気持ちを表してもらいたいと思って、」</p> <p>ナレ「裕子さんは赤の他に青のストライプ柄など、8本のネクタイを購入したと言います。」</p> <p>裕子さん「主人もそれは厳しい選挙になっていることは十分認識していると想いますが、最後まで全力で頑張ろう、頑張らしましょう、ということで機能も出ファで話ししました。」</p> <p>ナレ「今レまで二人三脚で寄り添ってきた裕子さん、妻として今思うこととは。」</p>		

裕子さん「色んなそういう情勢は伝えられてますけれども、まあもうここまできたら最後までやるしかないと思っていますので、あの主人は主人で、全力で頑張ってもらいたいと思っています。」 "

"ナレ「同じく、ポスト安倍の座を狙うこの人は。」

石破茂（自民党元幹事長）「自分に不利だからやらないとか、そういう事があってはならない。」

ナレ「情勢が不利と言われる中、石破茂元幹事長も今日夕方、総裁選に立候補する考えを正式に表明しました。」

石破茂（2008年）「これから先、どうやって日本は世界の中に。」

ナレ「総裁選への出馬は今回で四回目のチャレンジとなります。」

石破茂「勇気を持って真実を語る、そしてあらゆる組織と協議して決断をする、政府を謙虚に機能させる、国会を公正に運営する、そういう政党であらねばならないと思っております。」 "

"ナレ「派閥の支持が集まり、一気に有利な情勢となった菅義偉官房長官、出馬を求める参院議員と面会した際、明日夕方に立候補を表明する考えを明らかにしました。」

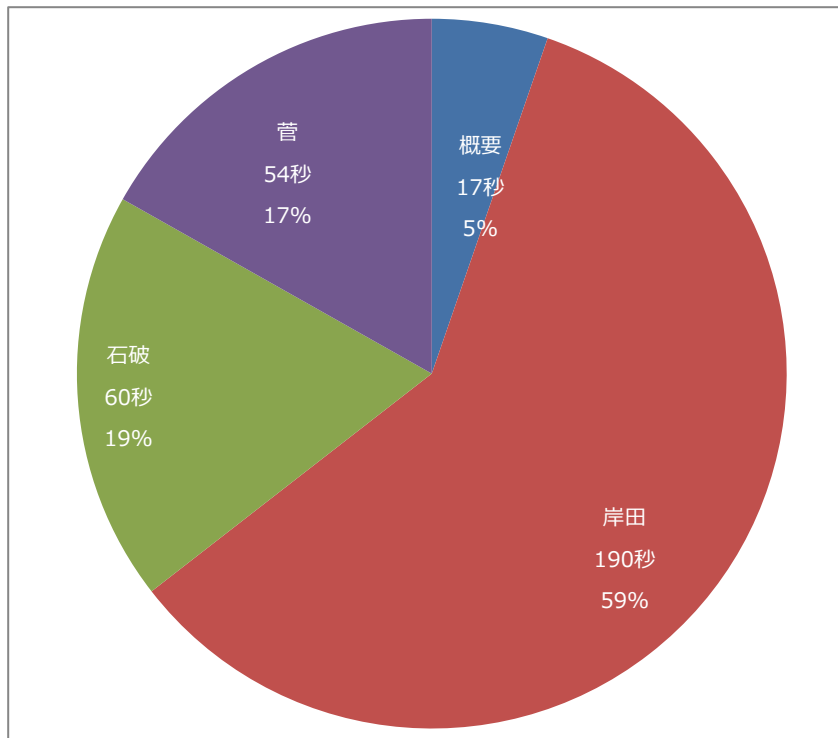
島村大（自民党参院議員）「明日夕方、出馬表明をすると断言していただきました。」

ナレ「菅氏は今日、昼頃には麻生副総理と密かに会談、選挙体制などについて話し合ったと見られる他、森元総理とも面会するなど、精力的に支持がために動きました。 "

"さて、この人は妻が用意した勝負ネクタイを身に着けたのでしょうか。"

岸田文雄「戦いは大変厳しいのではないかと、そういったご指摘がありました。まあこれについては仰るとおりだと思います、ひとりひとりの心に届くように丁寧にこの訴えを続けることによって、活路を見出すべく努力を続けていく、これに尽きると思っております。」 "

このトピックについて当てられた時間は 321 秒で時間配分及び比率は以下の通りだった。



自民党総裁選をめぐる報道については他の放送日とあわせての評価が必要と考えられる。

・岸田文雄スタジオに出演：結論→他の放送日とのあわせでの評価が必要

岸田政調会長がスタジオに出演し、以下に朱記したようなやり取りが繰り返され続けていた。

"山本恵里伽「ここからは自民党総裁選への出馬を正式に表明した岸田政調会長にお話かがってまいります、よろしくお願いたします」

岸田文雄「よろしくおねがいます。」

山本恵里伽「ちなみに今日のネクタイは奥様が選んだものですか。」

岸田文雄「はい、おそらく映像に写っていた8本のうちの1本だと思います。」

山本恵里伽「持ってこられたものの一つと。今回の出馬に関しては奥様とはどんなお話をなさったんですか。」

岸田文雄「うーん、あの、勿論、色んな動きについては話していますが、別に相談したというのではなくて、やることにした、とその、一方的にその決断を伝えたと、そういうことです。」

山本恵里伽「奥様はなんとおっしゃいましたか。」

岸田文雄「何と言ったか、あまり記憶にありませんが、淡々と受け入れてくれたと思います。」

"山本恵里伽「なるほど、ではこちらですね、現時点での各派閥の投票先というのを見ていきたいと思うんです、まず菅官房長官、無派閥の菅グループ、そして細田派、麻生派、竹下派、二階派、石原派となっています、岸田さんは岸田派、石破さんは石破派。で、無派閥がどう動くのかという点ですね、こう見てみますとやはり厳しい戦いだなというふうに見えるんですけども、どのように票を切り崩していこうとお考えですか。」

岸田文雄「うーん、そうですね、今説明があったように派閥、大きな枠組みではもう圧倒的に勝負はもう決まったのではないかと、そういうふうに見えると思います。ただ、やはり最後はそれぞれの国会議員が自分の見識で物を考えて判断する、とこうしたものであると私は信じておりますので、しっかりと、丁寧に、自分の思いを伝えて、ひとりひとりの心にしっかりと働きかける、これを最後までやる。まあそれに尽きると思っております。」

"星浩「まあ派閥というのは永田町の論理ですのでね、まああとで話に出ると思いますが、地方票の動向とか、世間の反応とかですね、いろいろな要素が絡んでこれから総裁選が展開すると思うんですけども、ここで一つその安倍総理との関係についてお伺いしたいんですけども、その岸田さんは外務大臣をやって、それから政調会長もやって、それから2年前の総裁選挙には出馬を見送って安倍さんを応援した、と。」

岸田文雄「はい。」

星浩「まあそれもいづれまあ安倍さんが、自分が今度岸田さんが出る時は応援してくれるんじゃないかなという期待もあって、禅譲とかどうかは別として、そのへんの期待があったと思うんですけども、そのへんはまあ裏切られたとかちょっと残念だったなあという感じはあるんですか。」

岸田文雄「うーん、でもそれを言い出したら、菅官房長官はこの政権の最初からずっと官房長官を務めていた、更にはこの二人の付き合いはその前からあった、こういった付き合いもあるわけですから、うーん、まあどっちが優先されるかなんて言い出したらきりがいいのかなとも思います。」

星浩「それから選挙戦が始まればですね、菅さんがまあ圧倒的な今派閥単位でいうとその支持を集めていますので、この菅さんとの違いというのをある意味で岸田さんがどう出して、菅さんの陣営を切り崩していくかということになると思うんですが、そういう意味では菅さんとの違い、どういうふうに打ち出して以下。」

岸田文雄「そうですね、あの、政策の中身ということについて直接を伺ったことはありませんが、やはり政治

家のタイプとして菅さんは官房長官として、組織をしっかりとコントロールしていく、実務に長けておられる、この政府をしっかりと動かしていく、こうした経験能力に大変優れた方だと思っております。私はやはり政治家のタイプ、いろいろなタイプがある中であって、やはり今の様々な政治課題を考えると、例えばコロナウィルス対策一つ取ってみても、国民の協力なくしてはこの様々な政策目的を果たすことができないこれが現実ではないかと思えます、ですから国民の協力を引き出せるリーダーを目指していかなければならないと思っております、そのためには政治の信頼、更には国民の声を聞く力、こういったものをしっかりと磨いていくことが大事である、という思いで色々努力してきた、これが自分のありようだと思っております。」

"山本恵里伽「菅さんと岸田さん、といたしますと、昨年の参院選を思い出される方も少なくないと思うんですね。そちらをちょっと振り返ってみたいと思えます。」

村瀬健介「こちら、広島選挙区ですけれども岸田王国と言われるほど、強固な地盤なわけですけれども2019年の参議院選挙では岸田さんと菅さんの代理戦争とも言われるような状況ができていたんです、どういうことかと言いますとこちらの選挙区では5期連続で当選を果たしていた岸田派の溝手さんがいたんですけれども、自民党本部、特に菅さんの意向でですね、2議席独占を狙うんだということで河井案里さんの擁立が決まったわけです、その結果分裂選挙となりまして、溝手さんが落選、一方の河井さんが当選ということになりました。ところが後になってわかったことなんですけれども、党からの選挙資金、溝手さんから10倍にも当たる1億5000万円がですね、河井陣営に渡ってたということがわかったのです。」

星浩「これは岸田さんの地元で起きたことですし、10倍もの資金が投入されていたこと、それから広島の政界は今、大混乱ですよ。」

岸田文雄「そうですね。」

星浩「岸田さんからすると本当は腸が煮えくり返るほどちょっとこう怒りがあると思うんですけれども、そのへの怒りはどうですか。」

岸田文雄「あの、まあ当時の選挙、要は広島選挙区は議席が2つある、そして前回、その前の選挙の票の出方を見ると、優に二人は当選できる票が出てた、そういったことから2議席独占を目指す、まあ党勢拡張という意味ではそういった論理に逆らうことはできなかった、これが現実ではありました。しかし蓋開けてみたら政治資金も随分違った、そして何よりも河井さんの陣営、今、夫婦で裁判を、裁判にかかっているわけです、法律的にもかなり問題のある対応をしていたのではないかと、こうした疑惑があるわけですが、こうした選挙の当時にはわからなかった実態が、あとからあとから出てきている、このことについては大変複雑な思いですし、そして星さんが仰ったように、今この事件を通じて広島政治の信頼が今あらためて問われている、この出直し選挙、これから参議院の補欠選挙もやらなければならない、衆議院選挙も来年までにはかならずある、この出直し選挙を戦わなければいけない、地元は大変だということは仰るとおりであり、しかし自民党の信頼回復のためによほど頑張らなければいけない、そうした強い思いは持っています。」

"山本恵里伽「ではここで世論の声というのを聞いてみたいと思えます。」

村瀬健介「はい、ここで今回の総裁選挙は事実上次の総理を決める選挙ともなるわけですけれども、週末に行われました、共同通信の世論調査、岸田さん、石破さんや菅さんに大きな差を着けられているんです、街の人々、岸田さんの印象どのように見ているのか、聞いてみました。」

村瀬キャスターのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

市民 A 「菅さんと石破さんよりはちょっとインパクト薄いね。」

市民 B 「印象がないの印象です。」

市民 C 「二番手三番手ならすごく実力を発揮するかもしれない。」

市民 D 「だいすきです。」

記者 「どういったところが。」

市民 D 「同じ広島でね、はいちょっと近くでお会いしたこともあるので、素敵なお方ですよ。」

VTR を受けて、スタジオでは以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"山本恵里伽「嬉しい声もあれば厳しい声もあるという感じでしたけれど、ご自身は自分のことをどういう人間だと思われませんか。」

岸田文雄「うーんあの政治家にも色々なタイプがありますが、自分が自分がと出ていくタイプ、あるいはトップダウンでどんどん自分で決めてしまうタイプ、更にはですねあえて敵を作って自分をこの押し出すタイプ、まあ色々なタイプがありますが、少なくとも私は今言ったタイプではないと思っています。先程、協力を引き出すリーダーでありたいということを申し上げましたが、そのためにやはり政治の信頼、そして何よりも多くの声を聞く力、まあこれが大事だと思っています。特に政治家はですね、人によってはですね他人の話を 30 秒も黙ってられない、というようなタイプも結構います。やはり代議士というのは人の代わりに議論をする、まあこういった役割だと思っていますので、まずは人の話を辛抱強く聞くことから始めないと、人の代わりに議論をすることはできない、まあこういったことだと思っているので、聞く力を養う、これも大事なことだと思っています。」

(CM)

"星浩「今回の話でまた出た、永田町の論理で思い出すんですけども 20 年前に加藤の乱というのがありまして加藤さんもその永田町の論理で選ばれた森さんはおかしいじゃないかという事があって岸田さんもこの中にいらっしまったわけですね。やっぱりその今回のその永田町と世間のズレということについては岸田さんなんか思うところありますか。」

岸田文雄「確かにずれという表現で表すのかもしれませんが、今回のケースについてはですね、あくまでも自民党の党則 6 条というのは原則はフルスペックの党員投票を行う、しかしながら緊急時には両院議員総会において決めることができる、これは党則に明記されています。ですから今回、両院議員総会での対応になったということについては党則上はもう全く問題がない、正当な対応であるということはず確認しておかねばなりません。しかし、世の中はそう受け止めていない、なにか思惑があってその投票の方法が操作されているのではない、そういう疑いの目で見ているわけです、ここに問題があると思っています、それに対してやはり党としてしっかり説明をしなければならぬ、私も今日の総務会で発言をしたのですが、この世の中の目に対して、党則上どうなっているか、そしてフルスペックでやったならば本当に一ヶ月半から二ヶ月かかるかどうか、こういったこと、更には両院議員総会でやるにしても各県連はそれぞれ独自に投票を行うという動きもちゃんとあるんだということとか、こういったことをしっかり説明した上で、その党の方針を決める。こうした説明責任や透明性、こういったものをしっかりと持たないと、その世の中は自民党に対してどうもおかしなその目を向けてしまう、このことに対して真剣に受け止めなければならない、間違ってもこういった説明をせずにいきなり結論、マルカバツかどっちかに決めるというような荒っぽいことをやってしまうと党の信頼やあるいは見方、これを悪化させてしまうのではない、ぜひ説明責任を果たしてもらいたい、これを強く訴えました。結論は出たわけですけど

も、ぜひ、まあ党として国民のみなさんにどうして両院議員総会なのか、そしてそれでも各県連はちゃんと投票をやるんだという動きもあるんだということ、これもしっかり説明するとか、まあそもそもフルsパックの党員投票というのは今まで任期途中で総裁が消えた際に、総裁がその辞任した際に一度もやったことがない、まあこれが今までの経緯であるということとか、こういったことを丁寧に説明することによって自民党の判断を国民の皆さんに説明することが大事だとこれは強く思っています。」

"山本恵里伽「国民の目という点でいいますとコロナ対策というのも非常に関心事だと思うんですね、いま一番必要だと思うこと、何でしょうか、

岸田文雄「はい、コロナ対策についてはまず長期戦の様相を呈してきましたので、感染症対策と経済対策、これ感染症対策は勿論人の命に関わりますが、経済対策もこれ失業率が1%上がると自殺者が1000人以上増えるという指摘があります、これ経済対策も人の命に関わる問題です。よってこの感染症対策と経済対策、これは車の両輪として進めていかなければならない、長期戦であればなおさらだというふうに思います、そしてその際にポイントとなるのは検査の有り様だと思っています、あくん戦略対策としてこの検査、PCRを始めですね、検査の充実、これは当然大事ですが、今後経済を動かしていく、人や物や金を本格的に動かす際にもこれ検査をですね、しっかり行うことによって例えば観光であったり例えばその物の移動であったり、こういった物をしっかり動かしていく、こういった視点は大事です、ですから経済の分野においても検査の実数を増やして、それを適切なシステムとして動かしていく、こういった努力も必要になっていく、この感染症対策とそして経済対策、これ同時に進める中に会って検査の有り様というのは一つ大きなポイントになってくるのではないかと、このように思っております。」

"星浩「最後の質問ですけれども、その安倍政権の長きに渡ってやっぱりその負の部分ですかね、森友、加計、桜問題がありまして、その点についてまあ色んなその再調査を求める動きがありますよね、その点については岸田さんどういうふうに考えていますか。」

岸田文雄「まずそういう疑惑について、説明が十分なのかどうかというような議論もありましたが、十分かどうかは説明する側が決めるものではなくて説明を聞くほうが決めるものですから、これ、国民が十分ではないというのであるならばこれは引き続き説明はしなければならない課題であると思います、ただ私もそういった問題については内部におりませんでしたのでマスコミなどを通じて知るだけです、こういったことについてもし実際に聞く機会があるのであるならば、その中の具体的な情報を知る立場に立つとしたならば一度、その状況についても聞いてみる、まあこういったことは考えては見てもいいのではないかとはい思います。」

山本恵里伽「ここまで岸田政調会長にお話を伺いました。ありがとうございました。」

岸田文雄「はい、ありがとうございました。」

このトピックについて当てられた時間は1009秒だった。

総裁候補の出演については他の有力候補の取り扱いと比較しての判断が必要と考えられる。

・総裁選の投票方法：結論→特に問題なし

山本キャスターの「そして今回の総裁選で無視できないのが、その選び方という点でしたよね。村瀬さんお願いします。」とのコメントおよび村瀬キャスターの「はい、自民党の総裁を決める投票方法ですが注目されていた党員投票の扱いが今日決まりました。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

"ナレ「事実上の総理選に党員の声はどう生かされるのでしょうか。今回の自民党の総裁選で注目されてきた、党員投票の在り方に今日結論が出ました。」

村瀬健介（報告）「二階幹事長です、これから注目の総務会に向かいます。総裁選挙で党員投票を行うのかどうか、激論がかわされることとなります。」

ナレ「その判断がなされる総務会。」

小林史明（自民党青年局長）「党員にとっても、そして国民のみなさんにとってもいい決め方になるようにしっかり議論していきます。」

ナレ「こう話すのは小林青年局長です。党員の声が反映されやすいように党大会を開いて党員投票を行うよう、昨日、二階幹事長に署名を提出しました。そもそも総裁選は2つのやり方があります。党大会によるものと両院議員総会によるものです。原則は党大会を開き、国会議員だけでなく党員も投票を行います、その票数は394票でおなじ、この場合党員に人気が高い石破氏に票の積み重ねが期待されます緊急時に行われるのは両院議員総会、国会議員票はなくなりますが、党員投票がなくなります。変わりに各都道府県に3票ずつ合計141票が与えられますが党員の声は3分の1近く減ることとなります、この方式は国会議員票を固めつつある菅官房長官に有利になると見られています。に時間近く続いた総務会。」

若本瑞貴（報告）「総務会が終了し、議員たちが続々と退出しています。」

ナレ「その結論は。」

"小林史明「正直に言って負けました。残念ながら。」

ナレ「結局、党大会を開くと投票までに二ヶ月ほどかかることを理由に党員投票は行われなかったことになりました。」

村瀬健介「党員、あるいは世論の理解は得られるというふうにお考えですか。」

小林史明「我々、フルスペックのですね、総裁公選を求めて来ましたが、次は全県でこの党員投票が行われるようにしっかりと求めていくということです。」

小泉進次郎（環境相）「まあ残念ながら、フルスペックの公選はやらずという結論になりましたが、自民党の多様な声があること、これが改めて証明されたと思います、」

ナレ「各都道府県に割り振られた三票については党員を対象に予備選挙を行うことを決めた支部が相次いであると言います。」

愛知県連「たかが三票といますが、されど三票であります。大事な三票を有効に総裁選挙に党員の皆様方の意向を反映して決めたいと、」

"ナレ「石破氏は。」

石破茂「民主主義が機能するためには参加する資格を持った人が一人でも多く参加をしていただかねばなりません、今回の総裁選挙が党員の皆様方に投票する資格が与えられない、極めて残念なことであります。」

このトピックについて当てられた時間は244秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・香港の民主派への弾圧：結論→特に問題なし

田村キャスターの「香港の民主活動家、周庭さんが今日夕方警察に出頭しました。周庭さんは先月国家安全維持法違反の疑いで逮捕されていて、去年日経新聞に出した広告を犯罪の証拠として見せられたと明らかにしました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

"周庭「出てきたときに話します、もし出てこられたらですが。」

ナレ「先月11日の保釈後、初めて警察署に出頭した香港の民主活動家、周庭さん、所在確認のための事情聴取でした、警察署を出たのはおよそ3時間五、日本時間午後七時過ぎでした、先月の周庭さんの逮捕容疑は国家安全維持法違反、具体的な容疑については明らかにされていませんでしたが。今夜」

周庭「警察側が見せた証拠の一つというのは日経新聞、去年、2019年に日経新聞に乗せた広告。」

(CM)

"ナレ「今日夕方、警察に出頭した香港の民主活動家、周庭さん。その後、ある事実を明らかにしました。」

周庭「容疑というのは外国勢力との結託というものです。でも一体どういう形で外国勢力と結託したのかという事は今はまだ分かりません。警察側が見せた証拠の一つというのは2019年に日経新聞に乗せた広告。」

ナレ「その好奥とはかつて周庭さんが所属していた民主は団体が一年前に日経新聞に掲載したもの、国際社会に抗議デモの支援を呼びかけていました。一部香港メディアは周庭さんが逮捕された日に警察が令状を持って日経新聞の香港支局に立ち寄ったと報じられました。しかし、国家安全維持法が施行されたのは今年6月30日、過去の行為にさかのぼって適用されたこととなりますが警察から詳しい説明はなかったということです。」

"周庭「他の国際メディア、日本メディアも同じ目に遭うかもしれない、そういう政治的な弾圧に遭うかもしれないので、報道の自由への脅威だと思っています。」

ナレ「国家安全法成立後、締め付けを強める香港政府、昨日の抗議活動では男女14人が逮捕されました。この映像では、警察と市民との衝突に巻き込まれた人p一字賀警察に押し倒される様子も、今日、行政トップの林鄭月娥行政長官は。」

"林鄭月娥（行政長官）「香港に三権分立はない。」

ナレ「行政の権力が立法、司法を上回ると主張、民主的な政治制度について香港政府トップが否定した形です。」
周庭「香港の民主化運動に参加している一員として引き続き自分の家を守るために頑張っていきたいと思いますし、香港の若者が私よりもっと厳しい状況、もっとひどい目にあっているのが国際メディア、そして日本のみなさんも私のことだけではなく、他の弾圧を受けている香港人そして香港の若者にも引き続き注目していただければと思います。」

このトピックについて当てられた時間は244秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・モーリシャス沖事件：結論→特に問題なし

ナレーションによって「モーリシャス政府が32億円を請求です。日本の貨物船がインド洋モーリシャス沖で座礁し、大量の重油が流出した事故、モーリシャス政府が漁業支援費として日本側におよそ32億円の支払いを求めたと地元メディアが報じました。漁船およそ100隻を日本やスリランカから購入するための費用などに当てる予定だということです。ただ、観光業や観光への被害もあり、所有会社の長鋪汽船に対する最終的な損害賠償額は確定していません。」とのことと伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は48で放送法上は特に問題は見られなかった。

・立憲や国民などの合流新党の結党大会を一日前倒し：結論→特に問題なし

立憲民主党と国民民主党などの合流新党について、スタジオで以下に朱記されたように伝えられてきた。

"山本恵里伽「立憲民主党と国民民主党などは合流新党の結党大会を当初の予定を一日前倒して今月 15 日に開くことを決めました。立憲民主党や国民民主党、無所属議員グループの幹事長などは 1 日、国会内で協議し、合流新党の代表と新しい党名を決める選挙を今月 7 日告示 10 日投開票の日程で行うことを決めました。また、結党大会は 15 日に行います。安倍総理の次の総理を選ぶ臨時国会と日程が重なるため予定を一日前倒ししたとしています。」

星浩「連日ね、自民党の総裁選挙の話が大きく取り上げられていますけれど、」

山本恵里伽「そうですね。」

星浩「野党の合流の話というのはあんまり出てきませんよね、で、自民党の方もね、どうもあんまりその危機感がないですね。それもやっぱり野党がですね、これはもう政権を取るだぞという勢いがいかなんだと思いますね、今回の合流は最初つまづきましてね、ずるずると時間がかかった上に玉木さんたちは合流しない、一体何やってるんだというふうに見ている野党支持者も多いと思うんですね、だからこれ、相当フレッシュな顔ぶれを整えてね、やらないと二大政党が危うくなるということになるかもしれませんよね。」

このトピックについて当てられた時間は秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・岸田文雄スタジオに出演

スタジオで以下に朱記したようなシーンが見られた。

山本恵里伽「菅さんと岸田さん、といいますと、今年の参院選を思い出される方も少なくないと思うんですね。そちらをちょっと振り返ってみたいと思います。」

村瀬健介「こちら、広島選挙区ですけれども岸田王国と言われるほど、強固な地盤なわけですけれども 2019 年の参議院選挙では岸田さんと菅さんの代理戦争とも言われるような状況ができていたんです、どういうことかと言いますとこちらの選挙区では 5 期連続で当選を果たしていた岸田派の溝手さんがいたんですけれども、自民党本部、特に菅さんの意向でですね、2 議席独占を狙うんだということで河井案里さんの擁立が決まったわけです、その結果分裂選挙となりまして、溝手さんが落選、一方の河井さんが当選ということになりました。ところが後になってわかったことなんですから、党からの選挙資金、溝手さんから 10 倍にも当たる 1 億 5000 万円がですね、河井陣営に渡ったということがわかったのです。」

星浩「これは岸田さんの地元で起きたことですし、10 倍もの資金が投入されていたこと、それから広島政界は今、大混乱ですね。」

岸田文雄「そうですね。」

星浩「岸田さんからすると本当は腸が煮えくり返るほどちょっとこう怒りがあると思うんですけれども、そのへんの怒りはどうですか。」

勿論、河井案里議員が二階派の所属ということについて岸田政調会長は承知のことだろうと思うが、テレビを見ている視聴者にはなかなかわからないことだろう。

NEWS23 週刊報告 詳細版

また、岸田派といえば二階派の特別会員細野豪志氏に対する自民党の公認候補吉川赳氏の所属する派閥であったり、山梨県で長らく岸田派の堀内詔子議員と二階派の特別会員の長崎幸太郎現山梨県知事が衆議院選挙で争っていたりと、二階派には随分と辛酸を嘗めさせられている。そのうえで、今回の河井案里議員ということになれば、岸田派と二階派の対立のほうが気になるところではないだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年9月2日
<p>出演者：星浩、山本恵里伽、田村真子、村瀬健介、石井大裕 森田正光（気象予報士）</p>		
<p>検証テーマ：自民党総裁選、「コロナ禍は戦争で」との発言の教育長が辞任へ LAでも黒人男性が警官に撃たれ死亡、テレ朝がBPO違反、コロナウィルスのワクチン 中国の核、ナワリヌイ氏に使用された毒物が判明</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風9号と台風10号 ・自民党総裁選 ・空飛ぶ車 ・「コロナ禍は戦争で」との発言の教育長が辞任へ ・LAでも黒人男性が警官に撃たれ死亡 ・テレ朝がBPO違反 ・コロナウィルスのワクチン ・中国の核 ・ナワリヌイ氏に使用された毒物が判明 ・スポーツ報道 ・パティシエ女性殺害事件で防犯カメラの情報が判明 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自民党総裁選：結論→他の放送日とあわせての判断が必要 <p>山本キャスターの「続いては次の総理大臣を決める自民党総裁選、本命と目されている菅官房長官が正式に立候補を表明、安倍政権の取り組みを継続する考えを示しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p>「村瀬健介（報告）「今、菅官房長官が会見場に到着しました。いよいよこの場で正式な出馬表明を行います。」</p> <p>ナレ「次の総理大臣を決める自民党総裁選挙、今日夕方、ポスト安倍本命と言われる菅義偉官房長官が出馬を正式に表明しました。」</p> <p>菅義偉（官房長官）「一人の政治家として安倍政権を支えたものとして、今なすべきことは何か、熟慮をしてみました。そして私は自由民主党総裁選挙に立候補する決意をいたしました。」</p> <p>ナレ「日本の現状を国難と表現し、政治の空白は決して許されない。一刻の猶予もない、と強調した菅氏、安倍政権の取り組みを継続する考えを強調しました。」</p> <p>菅義偉「安倍総裁が全身全霊を傾けて進めてこられた取り組みをしっかりと継承し、更に前にすすめるために、私の持てる力を全て尽くす覚悟であります。」</p> <p>ナレ「しかし、記者からは。」</p> <p>記者「まるで安倍総理のご発言を聞いているかのように感じました。菅総理として目指す政治というのは安倍政</p>		

権の政治の単なる延長なのでしょうか。」

菅義偉「今、私に求められているのはこのコロナ対策を最優先でしっかりやってほしい、それが私の最優先だと考えております。」

"ナレ「疑惑の目が向けられている森友問題については。」

菅義偉「森友問題については財務省関係の処分も行われ、検察の捜査も行われて、既に結論が出ていることでありますから、そこについては、現在のままであります。」

ナレ「再調査に否定的な考えを示しました。」

"ナレ「若い世代からは”令和おじさん”として注目され、一躍総裁候補として躍り出た菅氏、『意志あれば道あり』自身の座右の銘が示すとおりの道のりだったようです。」

菅義偉「私の原点について少しだけお話をさせていただきたいと思います。雪深い秋田の農家の長男に生まれ。」

ナレ「菅氏は秋田のいちご農家の長男として生まれました。スポーツ万能で中学時代は軟式野球部に所属していたと言います。」

倉田光二さん（菅氏の高校の同窓生）「高校の時も冷静沈着で目立たない人だから、他の同級生も義偉くん俺と同級生だったのか、と卒業アルバムを見て初めて知ったなんていうくらい。」

ナレ「東京で自分の力を試したい、と18歳で上京し、ダンボール工場に就職、その後働きながら勉強を続け、法政大学に入学しました。大学卒業後、民間企業に就職するも、政治の道を志します。」

菅義偉「世の中が見え始めた頃、もしかしたらこの国を動かしているのは政治ではないか。そうした思いに至り。」

"ナレ「47歳で国政に進出。1998年の自民党総裁選では当時所属していた最大派閥、小渕派の方針に反し、梶山静六元官房長官の擁立を主張。」

菅義偉（1998年）「退会届を実は今日、出してきました。やっぱし今の時代は梶山だという人が多いですよ。」

ナレ「2000年には自民党の加藤紘一元幹事長らが野党と同調し、森喜朗内閣の不信任決議案に賛成の構えを見せたいわゆる加藤の乱に参加しました。2006年、第一次安倍内閣で総務大臣として初入閣、2012年の第二次安倍内閣の発足に伴い官房長官に就任、スポークスマンとして長年、安倍総理を支えてきました。多くの派閥の支援を受けた菅氏にこんな質問が。」

"記者「各派閥の以降に振り回されるようなことになって、独自色を出せるのかどうか。」

菅義偉「私自身は派閥に現在、所属してません。自民党の派閥、いいところもあれば悪いところもあると思っています、しかし私は派閥の連合に押されて今、ここにいるわけではありません。」

"ナレ「ただ、こうした菅氏の思いをよそに既に派閥の主導権争いは始まっています。菅氏の出馬会見の直後に始まった、細田派、麻生派、竹下派、3つの派閥の会長による会見。」

細田博之（自民党細田派会長）「菅官房長官が引き続き安倍内閣の業務を引き継いでいただいて、リーダーとなっていていただくことが最善ではないか。」

ナレ「ロ々に菅氏に協力する考えを示しました。現在、党内5つの派閥からの支持を得、まさに一強状態にある菅氏、今回の会見は党内トップ3の勢力を誇る細田派、麻生派、竹下派が協力することでいち早く菅氏の支持を打ち出した二階派に対抗したい思惑が伺えます。」

記者「菅さんを支持する他の派閥が今日、同席されていない理由を伺えますでしょうか、派閥同志のその主導権

争いではないかという見方もありますけれども。」

麻生太郎（自民党麻生派会長）「もう既に支持を表明しておられますから、ここはまだ支持を表明しておりませんので、だから、三派ということだと思っております。別に主導権なんか争ってもしようがないと思いますから、はい。」 "

ナレ「二階派の議員は。」

河村建夫（自民党二階派会長代行）「菅さんを支援する気持ちは同じなんだから、一緒にやるべきではないか。」

ナレ「と、不快感を示しました。」 "

村瀬健介「総裁選挙の本格的なその、政策論争が始まる前にこの派閥の動きによってほぼ選挙結果が決まってくるということについて、国民の理解が得られるというふうにお考えでしょうか。」

竹下亘（自民党竹下派会長）「国会議員の今、いくつかのグループが支援をするという動きは当然、選挙、総裁選挙をやるたびに出てくる現象であり、私はそれはそれでいいだろう、と、その上で政策論争を重ねて、そして最終的には国民の皆様方にご支援をいただけるような内閣を作っていくことができれば一番いいな、と。」 "

岸田文雄（自民党政調会長）「これからご迷惑をかけますが、どうかお力添えよろしくお願いいたします。」

ナレ「一足先に立候補を表明した岸田文雄政調会長と」

石破茂元幹事長は今日、それぞれ支持集めに奔走、菅氏独走の様相を呈する中、今後の動きが注目されます。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが取り上げられた。

山本恵里伽「細田派、麻生派、竹下派という派閥のトップが共同で菅さん支持の会見をする、これまで過去にこういうことってあったんでしょうか。」

星浩「そうですね、私も長く派閥の取材をしましたけれども、こういう光景は見たことありませんね、派閥というのは本来競い合うもの、ライバル同士ですからね仲良くしているという光景というのは異様ですよ。」

山本恵里伽「村瀬さんは取材をしてどう感じましたか。」

村瀬健介「はい、私も会見に参加したんですけども、どうもやっぱり違和感がありまして、といいますのもこの会見がですね、果たして誰に向けて行われているのかという点がやはり最後までわからなかったんです。」

星浩「三人の視線は菅さんに向いているんでしょうね。菅さん自身は無派閥ですからどうも菅さん、派閥を越えた人事、党とか内閣の人事をするんじゃないかということで憲政をしているのと、今までずっと二階幹事長ペースでこの総裁選挙進んでますのでね、そこにちょっとブレーキを掛けたいという思惑もあるんでしょうね。ただまあ自民党の若手議員もね、こういう派閥の領袖が色々集って方向を決めていくということに対してはやっぱり反抗する動きを見せてもらいたいですよね。」

山本恵里伽「派閥の主導権争いのところになってきていますが、菅さんが今日、正式に出馬を表明したわけですよ、候補者三人が出揃ったという形です。」

村瀬健介「はい、今回の総裁選挙にはこちらの三人が立候補しています、まず菅さんは71歳、今日の会見でこれまで政権の中で進めてきたことを更に前へ進めるとしました。一方の石破さんと岸田さんは分断から協調へ、石破さんは納得と共感という言葉キャッチフレーズとして掲げています。」

山本恵里伽「やはりここで気になるのはこの三人が総裁となった場合に安倍総理の政治とどの点が変わっていくのかということだと思います、星さんからみた菅さんは継続、というふうになっていますね、アベノミクスを前にすすめる、こういう発言もありましたね。」 "

"星浩「そうですね、本来は総理大臣が退陣すればね、官房長官というのは連帯責任ですので、普通は一緒に退くということなんですけれど、今回菅さんが手を上げたわけですからまあ安倍路線を引き継ぐという形で菅さんはこの主流体制をそのまま引き継いでいこうということなんです、ですからみんな菅さんには異を唱えずにそのままこの体制が続くといいなと思っているわけですね。ただし、やっぱり安倍路線と言っても負の部分もありますよね、森友もありますしアベノミクスの格差の問題もあります、その部分まで引き継ぐのかという話になりますし、このまま行けば第三次安倍政権なんじゃないのか菅政権というのは、ということもありますんで、これから論争の中で本当に安倍政権そのまんまでいいのかという議論は出てくるでしょうね。」

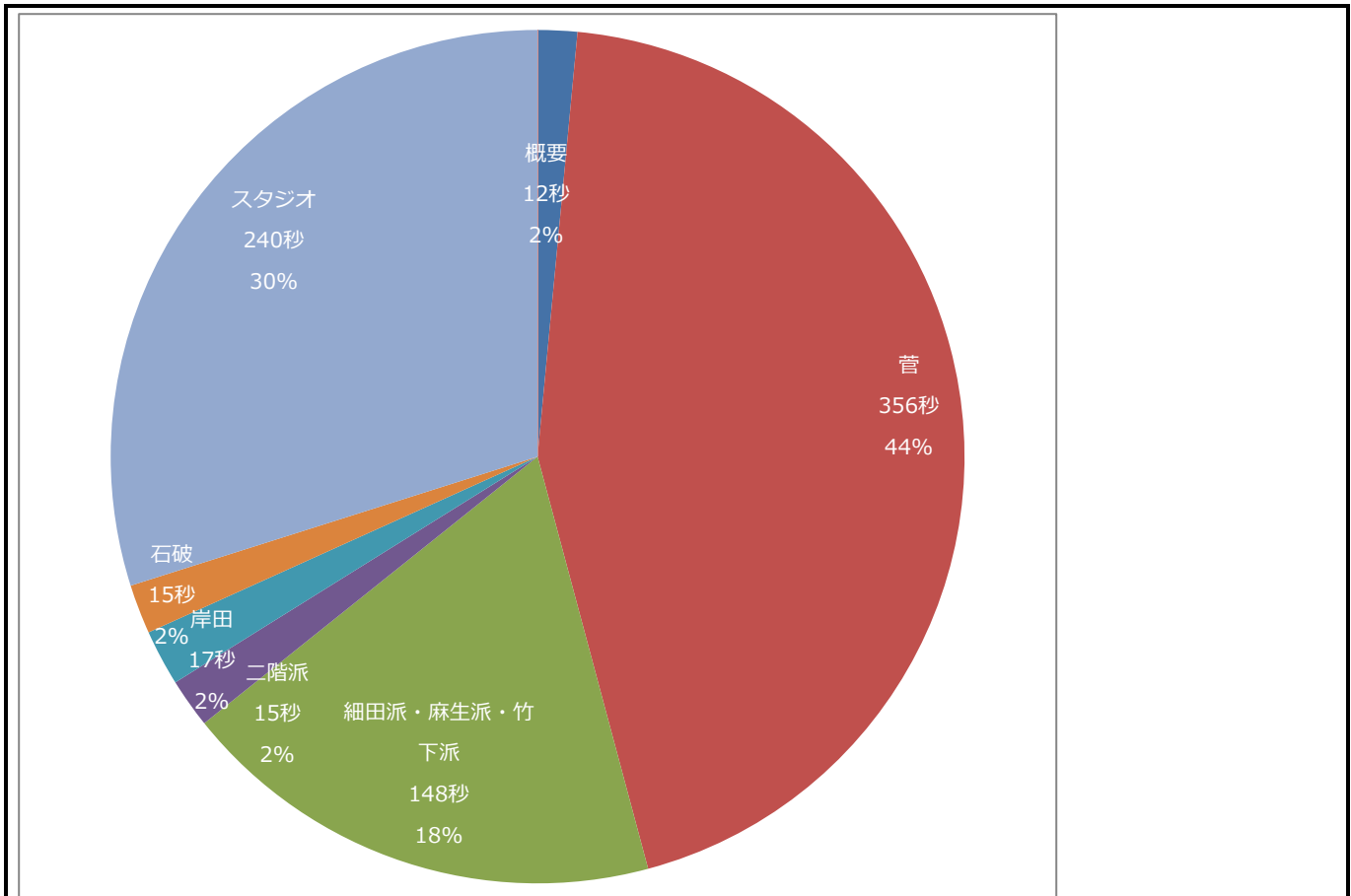
山本恵里伽「そして岸田さんはバランス、石破さんは転換とありますね。」

星浩「岸田さんは本来安倍さんから禅譲といいますか支援を受けたかったんでしょ、まあ菅さんにかっさらわれたということもあってここはちょっと様子を見て安倍路線に少し注文をつけながら、しかし、まあ全面对決するわけではないと、バランスの立ち位置で以降、で来年の秋にもう一回総裁選挙がありますから、そこに向けて次の政権の出方を見守ろうというスタンスでしょうね。石破さんはですね、本来はその全党员選挙によって流れをつかもうと思っていましたけれども、その目算がもう完全にくるっちゃいましたので、ここはもうせいけんと全面对決との転換型で言ってその窮地を脱してですね、局面を展開しようという気分だと思いますね。」

山本恵里伽「この自民党総裁選は8日に告示、そして14日に両院議員総会で決まるという流れになっています。」

他のトピックを挟み番組のクロージングで山本キャスターの「明日はスタジオに総裁選への出馬を正式に表明した菅官房長官に起こし頂く予定です。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は812秒だった。



総裁選を巡る報道については他の放送日とのあわせての判断が必要と考えられる。

- ・「コロナ禍は戦争で」との発言の教育長が辞任へ：結論→特に問題なし

田村キャスターの「新潟県燕市の教育委員会教育長がコロナ禍を解消するには戦争が必要という趣旨の発言をしていたことがわかりました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられた。

「遠藤浩（燕市教育委員会教育長）「不快な思い、大きな不安を与えてしまいましたこと、深くお詫びを申し上げます、誠に申し訳ございませんでした。」

ナレ「今日午後、会見で頭を下げた燕市教育委員会の遠藤浩教育長、問題となったのは先月の定例会での発言でした。」

教育長報告「コロナ禍を短時間で解消する方法はどこかで大きな戦争が発生することではないだろうか。（中略）

紛争とか戦争が始まれば武器という商品で経済は回復するだろう、罪のない人間の命との交換である。（後略）」

ナレ「戦争を期待するとも取れる発言をしたのです。」

遠藤浩「社会全体に閉塞感のようなものがあり、それを打開する方法として戦争を始めてしまうのではないか、という人間の愚かさを憂いて表現したものであり、決して戦争を期待したり肯定したりするものではありません。」

ナレ「遠藤教育長は謝罪し、今月24日に辞任することが決まりました。」

このトピックについて当てられた時間は90秒で放送法上は特に見られなかった。

・LA でも黒人男性が警官に撃たれ死亡：結論→やや問題あり

LA で黒人男性が警官に撃たれて死亡した件とトランプ大統領の対応について以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"トランプ大統領「警察は州兵や多くの人々と協力して素晴らしい仕事をしている。我々はケノーシャとウィスコンシンへの支援を示すためにここにいる。」

ナレ「トランプ氏は1日、警察官による黒人男性の銃撃事件がおき、抗議デモが続いている、ウィスコンシン州ケノーシャを訪問し、警察関係者を激励しました。しかし、警察官に銃撃され重症を迫った黒人男性ジェーコブ・ブレイクさんやその家族とは面会しませんでした。さらに。」

"松本年弘（報告）「黒人男性が銃撃された現場近くの保安官事務所では数百人が集まり抗議デモを行っています。警察当局とにらみ合いになっています。」

ナレ「ロサンゼルスで29歳の黒人男性が複数の警察官に撃たれ、死亡したことに對し、1日数百人が抗議デモを行いました、死亡した男性は先月31日、交通違反の疑いで職務質問を受けた際に逃亡、その後、警察官らともみ合いになり男性が警察官を殴ったうえ、拳銃を落としたため、警察官が複数回発砲したということです。」

デモ参加者「子供なのに警察官を怖がっている、うんざりだ、公平な裁きが必要だ。」 "

"山本恵里伽「トランプ大統領は黒人の銃撃事件に抗議するデモが起きたその現地で過激デモを非難したということなんですよね。」

星浩「そうですね、あの被害者の家族に会わないで、その警察関係者に対して法と秩序が大事なんだと激励したっていうんですね、そのデモのもとになった人種差別というのがあって、その人種差別からそのデモに繋がり、デモの過激化によって被害が出たところに行っただけ行ったということなんですよね。やっぱりその今、トランプさんあと2ヶ月後に大統領選挙にありましてね、そこがもう頭の中を占めていましてね、40%と言われる保守派はですね、どちらかというと人種差別反対よりも法と秩序なんだという人が多いんですね、そこに対してアピールしているというのが今回の行動の原因だと思うんですね、しかし本来大統領選挙に向けてですね、共和党民主党のその党派を超えてですね、人種差別はだめなんだということに一致してそのアピールするべきなんですけれども選挙対策でこういう発言を繰り返していくのはまあ分断と対立をね、どんどん深めるばかりだと思いますね。」 "

このトピックについて当てられた時間は169秒だった。

「人種差別はだめ」ということは否定するものではないが、それに対して「法と秩序」が劣るのかと言われるとその点は非常に疑問であるが、星キャスターのコメントはあたかも「人種差別はだめ」ということが「法と秩序」に優越するかのようなコメントであり、法と秩序を重視するような人々が40%のもいる中で、人種差別を題目に法と秩序を軽視するとも見られかねないかのような態度を示すよう大統領に求めるようなコメントをするのは放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」という点に照らして問題があるといえるだろう。

・テレ朝が BPO 違反：結論→特に問題なし

ナレーションによって「BPO 放送倫理・番組向上機構はテレビ朝日の報道番組スーパーJチャンネルの放送で放送倫理違反があったとの意見を公表しました。この特集は業務用スーパーを訪れた客の人生模様を描いたもの

ものですが、登場した四人はいずれも担当ディレクターの知人で偶然を装って取材に応じる仕込みでした。BPOはこうした取材家庭は適正ではないと指摘しています、これに対しテレビ朝日は『BPOの決定を真摯に受け止め、今後の番組制作に生かしてまいります』とコメントしています。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 32 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・コロナウィルスのワクチン：結論→特に問題なし

ナレーションによって「政府が新型コロナウイルスのワクチン接種について、原則費用の自己負担を全員無料とする案を検討していることがわかりました。ワクチン接種は医療従事者や高齢者などが優先される見通しですが、若い人や症状の軽い人も感染を広めることから一律無料とすることで、供給が追いつき次第幅広い人に摂取してもらおう考えです。費用は全額国が負担する方針で、専門家による分科会で議論して今月中に取りまとめる予定です。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 48 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・中国の核：結論→特に問題なし

ナレーションによって「アメリカ国防総省は年次報告書で中国が現在保有する核弾頭の数をも 200 発台前半と推定した上で各戦力の拡大と近代化により、今後 10 年間で少なくとも 2 倍になると予測できると指摘しました。核弾頭を搭載できるミサイルについても、大陸間弾道ミサイルや潜水艦発射、更に空中発射の弾道ミサイルの能力向上や開発により中国版核の三本柱の構築を追求していると分析しています。こうした中、中国海事局は軍事任務のため今月 1 日から 22 日まで渤海に航行禁止区域を設定したと発表。中国共産党系の国際紙、環球時報は専門家の話としてこの海域が潜水艦発射弾道ミサイルの実験で使われるエリアだとし、新しい世代のミサイル発射実験を行う可能性があると伝えました。実験目的はアメリカの挑発が強まり戦略レベルの抑止力を持つためだとしています。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 85 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ナワリヌイ氏に使用された毒物が判明：結論→特に問題なし

ナレーションによって「ドイツ政府は先程、ロシアの野党勢力指導者ナワリヌイ氏に使用された毒物について神経剤ノビチョクのグループに属する物質であると発表しました。ナワリヌイ氏は先月 20 日ロシアを飛行中の機内で意識不明となり、その後ベルリンの病院で治療を受けていました。ノビチョクは旧ソ連とロシアが開発した神経剤の一種で非常に致死性が高いことで知られています。最近では 2018 年にイギリス南部でロシアの元スパイが重体となった事件でも使用されています。」とのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 42 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年9月3日
出演者：星浩、山本恵里伽、田村真子、石井大裕 菅義偉（官房長官）、森田正光（気象予報士）		
検証テーマ：菅官房長官生出演、自民党総裁選、ユニセフの子供調査、大阪都構想		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菅官房長官生出演 ・自民党総裁選 ・台風10号に気象庁が異例の会見 ・ユニセフの子供調査 ・スポーツ報道 ・大阪都構想 ・新潟県三条市で40度超え ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菅官房長官生出演：結論→他の放送日との比較が必要 <p>菅官房長官をスタジオに招いての以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。</p> <p>"山本恵里伽「実質的に次の総理大臣を決める自民党総裁選、菅氏、岸田氏、石破氏の三人の出馬が決まりました、今日は大本命の菅義偉官房長官にお越しいただきました、よろしく願いいたします。」</p> <p>菅義偉（官房長官）「こちらこそよろしくどうぞ。」</p> <p>山本恵里伽「菅さんは朝晩と腹筋を200回されている、ウォーキングされているとうかがいましたけれども。」</p> <p>菅義偉「そうですね、約40分くらいウォーキングと言うかほんの散歩ですよ。」</p> <p>山本恵里伽「お散歩を。」</p> <p>菅義偉「はい。」</p> <p>山本恵里伽「このお忙しい中でもやられているんですか。」</p> <p>菅義偉「やっています。」</p> <p>山本恵里伽「今日も？」</p> <p>菅義偉「やってきました。はい」</p> <p>山本恵里伽「まあそんな菅さんには今日、このようなテーマでお話を伺って参りたいと思います。菅カラーをどう打ち出すか、という点なんですけれども、正式に総裁選への出馬を決めまして、どのような政策を進めるのか昨日の会見でこのように語っていらっしゃいます。」</p> <p>"菅義偉「安倍総裁が全身全霊を傾けて進めてこられた取り組みをしっかりと継承し、更に前にすすめるために渡しの持てる力を全て尽くす覚悟であります</p> <p>ナレ「昨日の出馬会見、菅氏は安倍政権が推し進めてきた政策の継承を繰り返し訴えました。」</p> <p>菅義偉「私自身はアベノミクスというものをしっかりと責任を持って推し進め、更に前に進めていきたい。金正恩委員長とも条件をつけずに、会って、活路を切り開いていきたい、そうした気持ちも同じであります、領土問</p>		

題の解決、平和条約の締結をするとの方針も私自身も一緒になって取り組んできましたので、この方針については変わりはありません。」

ナレ「この答えに記者からは。」 "

"記者「菅総理として目指す政治というのは安倍政権の政治の単なる延長なのでしょうか。」

ナレ「菅政権は何を目指すのでしょうか。」 "

"山本恵里伽「会見の中で繰り返さう安倍政権の継承というふうには仰っていました、記者からも延長なのかという質問がありました、菅さん、その安倍政権の継承だけ、何でしょうか。」

菅義偉「あの、今国民のみなさんにとって最大の関心事というのはこれがあの国民の皆さんの声ですよ、そして経済そのものですね主力の GDP というのは戦後最悪ですよ。そういう中であって、まずコロナ対策、このコロナ対策なにをするかというこの方向について、まあ総理画ですね中心になって計画を取りまとめました、そしてそういう中で経済が最悪の状況になってきている、そうした時に、総理自身がですね、この体調のために、辞任をせざるを得なくなった、ある意味では緊急事態だと思います。で、私はよく、ポスト安倍のことを聞かれていました、しかし私は全く考えていない、実際に考えてきていなかったんです。」 "

"山本恵里伽「実際に考えていなかった、これまでは。」

菅義偉「考えてなかったんです。ただいま、申し上げたようなですねこのような危機的な状況の中であって、私自身何をすべきか、そうしたことを考えに考えて、ある意味では熟慮、そうした中でここはやはり決心して出馬すべきじゃないか、まあそういう結論に至ったということです。」

山本恵里伽「まあ現在のですね、最新の世論調査見ていきたく思うんですね、支持が 34.5%、不支持が 62.2% ということで世論とはちょっとかけ離れているのかなという印象を受けるのですが、なぜこのように支持率低いと思われませんか。」

菅義偉「まああの、安倍内閣というのは何をなすべきかというのを明確に掲げてそれに取り組んできている、しかし、今支持率は非常に低くなってきていますけれどもやはりコロナの対策についてですね、評価されないとかいろんな要因があると思いますけれども、しかしやるべきことはやはりひとつひとつ丁寧に迅速にやっていますね、この日本のコロナの感染をですね、欧米諸国のように爆発的に拡大をすることは絶対に防ぐ、そして、まさに国民の皆さんの命と健康を守る、そういう中で総理を中心に私ども、一生懸命やってきたのは事実でありますので、そうした中で丁寧に行っていく、更にまた、経済対策もですね、まさにこのコロナ禍の中にご商売皆さん大変ですから、雇用を守って、そしてご商売が継続してできるような政策、ここをまずとにかくしっかりやる、その司令塔が総理だったわけですがけれども、まあ総理が体調で辞任される、それをやはり、私自身担ってやりたい、そういう思いの中である意味で継承していくのは自然なことだと思います。」 "

"星浩「支持率の低い原因の一つはコロナ対策が今ひとつ評価されなかったということがあると思うんですね、そうするとやはり菅さんが今度政権をとったら菅さんなりに今までのコロナ対策を修正するとか強化するとか、菅さんなりの対策を打ち出すとか、そういう考えはありますか。」

菅義偉「あの、基本的に私たち、このコロナ対策のについてはそんなに間違っていなかったと思います、ただ今日まで対策を行って来て大分学んできたということは事実なんですよ、例えば夜の街を全体を一緒にたたいていましたけれども、しかしそこでコロナの発生が多い場所というのは例えばキャバクラだとかホストクラブ、まあそうしたところを集中的にですね、この対策を打つとか、あるいはまた医療機関だとか高齢者の皆さんの介

護施設、こうしたところで一旦発生してしまいますとこれ大変な状況になりますから、そうしたところを重点的に予防をすとか、そうしたところはやはりしっかりやっていきたい、こういうふうに思っています。」

"山本恵里伽「うーんこの、菅カラーという点でいきますと経済政策という点でも気になります。村瀬さん、お願いします。」

村瀬健介「安倍政権の経済政策アベノミクス三本の矢といいましたけれども大胆な金融政策、機動的な財政政策、そして成長戦略とあったわけです、それでは国民は今の経済、肌感覚としてどのように感じているのでしょうか、街の声を聞いてみました。」

村瀬キャスターのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

「街の声 A (システムエンジニア)「金回りが良くなったので、その分少し多少は恩恵を受けられたかなということを感じましたよね。海外旅行に実際いくことがすごく増えましたし。」

街の声 B (会社員 40 代)「昨日と同じ明日が来るっていう安心感を持って生活ができていたわけではないから、仕事に関してもそこは大きいかなと思いますので。」

街の声 C (建設業 60 代)「直接それで恩恵を与ったとか、そういうことは感じられて、今のところはないですね。給料が上がるようなことも少なくなってきたので。」

街の声 D (サービス業：フリーランス 30 代)「派遣でちょっと働いていたんですけども、で、また切られて、今って感じです、やっぱり派遣というその枠の中からは抜け出せないのかなというのはやっぱりありました。」

VTR を受けて、スタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り広げられた。

"山本恵里伽「肯定的な意見、否定的な意見ありましたが、率直どう、お感じになりましたか。」

菅義偉「あの、皆さん、今の時点はコロナ禍になっていますからなかなかご商売難しくなっている、まあしごともうぜんそうです。それまでのアベノミクスいまそこに三本の矢掲げてますけども、ここの私も政権交代をしてから、このコロナ禍になるまでのやはり政策というのは私は、雇用を約 400 万人増やしていますからね、これ働く世代が減少する中で約 500 万人ぐらいの方が減る中で 400 万人の新たな雇用を差し引きですよ、作りますからそういう意味でやはり大事なのがまず雇用だと思います、このアベノミクスによって雇用を増やすことができたというのが事実だと想いますし、まあいちばんわかりやすいは株価ですよ、政権交代時為替は 80 円前後で株価も 8000 円台ですよ、今これだけ厳しくても為替は 105 円前後で安定していますよね、そして株価もいま 23000 円越えてきています、そうしたことが物語っているんじゃないですかね。」

"星浩「あの、このコロナの最中にですね、そのデジタル化の問題がね、政府がずっと旗を振ってきたんですけども、実は蓋を開けてみたらマイナンバーと口座が紐付いていなかったり、どうもその旗を振ってきた割には足元危ういんじゃないかというものはっきりしましたけれども、そのへんは反省点ありますか。」

菅義偉「ここはですね、このマイナンバーカードを発行してから、今日までの間にですね、なかなか今指摘されたようにですね、個人の口座との紐付けというのがこれは結構行われてきてなかった、そういう中で実は私去年にですね、これ、5000 億円かけてシステム作っているんですよ、で年間 500 億円のランニングコストあるんですけども、このマイナンバーカードというのが 12%だったんですよ、それで普及させるために健康保険をマイナンバーで使えるように仕様、これを決めたんです、厚労省にもかなり強く私も支持しましてようやく決めてスタートをし始めてきていたんです、だけど今回のこのマイナンバーカードみたいに振込の問題など色々あり

まして、そういう中で問題点というのが一挙に顕になってきましたので、今度は免許証も入れようとか、そういうことで大分進めてきていますけれども、このコロナ禍があつたら私自身のもとにそうした対応をするチームを作りました。そこでしっかりやっていきたい、こう思っています。」

山本恵里伽「安倍政権の中で女性活躍というのを推進されていたと思うんですけども、菅さんの中で具体的なそういった政策対策というのはありますか。」

菅義偉「あの、女性が活躍できる場を作る、先程申し上げましたけれども、その政権交代をしてから、500万人の人がこれ、高齢化が進んできましたから働く機会がなくなる、で、差し引き400万人が増えたと言いましたけれども、その多くが女性なんです、女性の方が社会参画できるような仕組みはそこはそれなりにできたから女性の方が400万人の確か300万人以上が女性の方だったと想いますけれども働ける、そして幼稚園とかですね、保育園、そうしたものに対して消費税を昨年引き上げた際に無償化だというものをご共々大学までですね、大学は所得がありますけれども、まあそうした思い切った子供若者に投資をした、ということです。」

山本恵里伽「働く女性という点でいうと、選択的夫婦別姓に関しては菅さんどうのお考えですか。」

菅義偉「私はそこについては、その本格的、本格的というんですかね、働いている人が途中変えないでそのまま継続できるというそこはいいと思います。」

星浩「やっぱりちょっと制度改正をしたほうがいいような気がしますよね。」

菅義偉「はい、そこはこれから色々考える必要があると思っています。」

山本恵里伽「なるほど。」

山本恵里伽「続いてはですね、7年8ヶ月続いていきました安倍政権の負の遺産といわれるものたちですね、こちらですね、まあ森友学園、加計学園桜を見る会とありますけれどもなぜこうした問題が起きたと菅さんは思いますか。」

菅義偉「あの、この3つはそれぞれ違う中でのことだと思いますけれども、まああの全体としてやはりご指摘、色んなその情報公開だとか、まあそうしたことについて不備があった、そうしたことについてはやはり謙虚に反省する中で対応していくべきだろうというふうに思っています。」

山本恵里伽「反省という言葉がありましたけれどもやはり菅さんの中には問題だという認識が。」

菅義偉「公文書の問題とか、そうですね。」

山本恵里伽「菅さんの政権になったらこういった問題は起きないと断言されますか。」

菅義偉「とにかくやはりルールに基づいて公開すべき点ははっきりしっかり公開を行っていくこれは当然のことだと思ってい明日。」

山本恵里伽「森友問題ではですね、文書の改ざんということがさきほど菅さんからもありましたけれども、近畿財務局の職員の方が自ら命を絶しました。その奥様は『次に首相になる方は夫がなぜ自死に追い込まれたのか、第三者委員会を立ち上げ公正中立な調査を実施していただきたいと思います』と、kのように仰っているわけです、で菅さんは再調査しないという立場をお持ちというふうに伺っているんですが。」

菅義偉「はい、あの、この問題についてはですね、国会でも何度となく議論をしました、そして財務省において徹底して調査をし、その結果として処分もいたしました。更に検察による操作も行われています、結果が出ているわけでありまして、ですからこうしたことを二度と再びないように、ですね、そこはしなければならぬというふうに思っています。」

"星浩「まああの一つは赤木さんの手記が出てきたのが財務省の調査のあとなんですね、ですからこの手記についてももう一度調べてほしいというのがまあ奥様のご意向なんですけれどもそのへんは再検討していただきたいなど私は個人的に思うんですけれども、もう1つそのこの問題が根深いのは当時の最高責任者であった、財務省の最高責任者であったその麻生さんの責任が問われないままにまき続けているということが非常にその今までこの問題が引きずっている原因だと思うんですけれども菅さんはその二店についてどう思いますか。」

菅義偉「あの、先程申し上げましたけれども、これはあつてはならないことだと思います、ただそういう中で財務省の中では厳しい調査をここは行いました。まあ結果としてまあ処分もしたわけでありましてそれと同時に先程申し上げましたが検察による捜査も行われておりますし結果も出ております、二度と再びこうしたことが起こらないようにそこは徹底して行わなければならない、こういうふうに思います。」 "

"山本恵里伽「あの、この奥様の言葉、メッセージというの菅さんご自身一人の人間としてどうお感じになりますか。」

菅義偉「あの、ご主人がお亡くなりになられたことに対しては心からお悔やみを申し上げたいというふうに思います、そういう中でこうしたことが二度と再びですね、こうしたことが起こらないようなそこは対応はしっかりやって行かなければならないとこう思っています。」

星浩「私あの以前から菅さんに聞いてみたいと思っていたんですけれども、桜を見る会の件で、そのまあ菅さんは総理に一日2回お会いになる、ずっとまあ7年8ヶ月そばに居られてですね、やっぱりあれだけ800人の総理の後援会の人に来るとかですね、そのそういう事実がどんどん進行していてこれはもしかして公私混同ではないのかなと菅さんご自身が感づかれてですね、ちょっともう場合によっては総理に苦言を呈したほうがいいのかなというふうに思われた場面とかはなかったですか。」 "

"菅義偉「まあそれについて、私全く気が付かなかったんですよ、あの、ものすごい広い場所ですよ新宿御苑、多くの方に来ていただければいいなというまあそんな思いの程度でありましたですよ。」

星浩「やっぱりそういう時に総理の後援会の人800人前後きていたということがわかっていればやっぱりちょっと総理、これは少し自制されたほうがいいんじゃないですかというふうに言う可能性がありましたかですか、もし仮の話ですけれども、」

菅義偉「まああの全体としてはやはり気が付かなかったですね、気が付かなかったというか多くの方に来ていただいたほうがいいなと思っていました。その中身については私は所管してはいますがほとんど承知していませんでしたね。」 "

"山本恵里伽「続いて、河井夫妻についてちょっと伺いたいんですね公職選挙法違反の買収の罪に問われているんですけれども、河井夫妻は菅さんと近いというふうに言われています、こちら見ていただきたいんですが去年の参院選写せますか？こちらでないですかね。あの、広島選挙区二人自民党擁立されましたよね。」

菅義偉「はい。はい、はい。」

山本恵里伽「で、溝手さんに対しては1500万円の選挙資金でした一方で河井氏には1億5000万円の選挙資金でした、その10倍ということですよ。ここに関して」

星浩「そうですね、その総理とか菅さんに近い人が優遇されるとかですね、相当その頻繁に応援に駆けつけるとかいうことでちょっとそのえこひいきじゃないかという部分は自民党の中からも出ていますけれども、そのへんはどういうふうに。」

菅義偉「そこはですね、選挙ですから、私たち自民党にすれば参議院過半数をなんとかしてもとりたいと、守りたいと、で、なかなか二人って認めてくれないんですよ、しかし広島は客観的に計算したらですね、二人当選十分できた票があったんです。ですから、公認をして、私も応援に生きましたけれども、私とか応援に行く場所は危ないところばっかししか行かせてもらえないんです。ですから私が2回3回応援に行った場所っていうのはいっぱいありますよ、あのここだけというよりも。」

"星浩「最後にあの、衆議院の解散総選挙、次の総理が誰になるにしてもですね一年以内には解散総選挙ということになるんですけども、菅さん先程の話でコロナ対策が最優先だということ。」

菅義偉「そう思っています。」

星浩「やはりコロナの終息の目処がつかないと、その言われているような10月25日の投票とかそういう早期解散というのはちょっと考えにくいということでしょうか。」

菅義偉「あの、私自身派ですね、国民のみなさんが最優先するのはこのコロナを落ち着かせてほしい、安定させてほしい、収束させてほしいというのが、それが国民の皆さんの声だというふうに思っていますので、やはりこのコロナがですね、まだ収束する前というのはそこはなかなか次に総理大臣になった人が判断するんですけども、そういう状況じゃないでしょうか。」

"山本恵里伽「もう1つ最後に伺いたいんですが、総理になった場合、総裁になった場合、どんな社会を目指すのか、今見ている視聴者の皆さんに対して具体的な理念などがあったら教えて下さい。」

菅義偉「私はこれ、前からずっと申し上げているんですけども、やはり自助、共助、公助の国作りということをやっていると、やはり自分でできることは基本的には自分でやる、自分でできなくなったら家族とかあるいは地域で協力してもらおう。それできなかった必ず国が守ってくれる、そういう信頼をされる国、そうした国作りというものを進めていきたい、こういうふうに思います。」

山本恵里伽「ここまで菅官房長官にお越しいただきました、ありがとうございました。」

- ・ 自民党総裁選：結論→他の放送日との比較が必要。

山本キャスターの「さて続いて自民党総裁選についてです、菅官房長官より一足先に立候補を表明した石破元幹事長と岸田政調会長、動きを活発化させています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

"ナレ「今朝、国会の中にある歯科医院で診察を受けていたのは石破元幹事長。」

歯科助手「特に痛みとかはないですか。」

石破茂「ないです。疲れると弱いところに出るもんな。」

歯科助手「そうですよねえ。」

ナレ「総裁選に備え、定期的な検診に来たということです。」

石破茂（自民党元幹事長）「週に一回、数少ない息抜きの場。」

記者「日本の虫歯はどこにあるのかなあ、なんて」

石破茂「ははは、そうね、だから定期的いきちんと見ていかないとほっておくと後で大変なことになりますよ、ということですよ。」

"ナレ「午後には都内のホテルに選挙対策本部を立ち上げた石破氏、」

石破茂「自分の思っていることを全身全霊で訴えたい、それにつきます。この戦いを国民のために次の時代のために意義ある戦いにしたい、そういうすごく爽やかな気持ちです。」

ナレ「国会議員票では、劣勢ですが、悲壮感はありません。」

"ナレ「一方、岸田政調会長は岸田ビジョンと銘打った政策集を発表しました。スローガンは、分断から協調へ、です。」

岸田文雄（自民党政調会長）「経済の分断、社会の分断、国際社会の分断、こうした事を考えますと今求められているのは分断から協調へ、であること。」

ナレ「その後、岸田氏が視察したのは歯科大学病院。奇しくも石破氏同様歯にちなんだ場所でした。」

記者「日本の虫歯はどこにあるとお考えですか。」

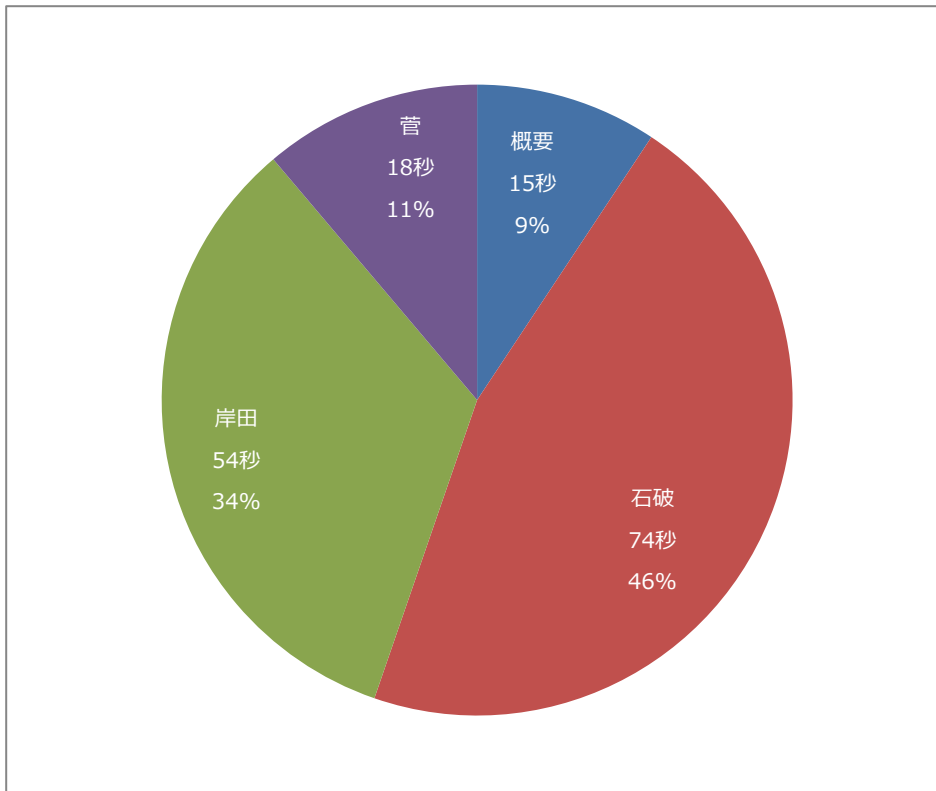
岸田文雄「問題点、課題ということであるならば、私は経済においては格差の問題だと思いますし、」

"ナレ「では、大本命のこの人は。」

記者「長官から見て日本の虫歯、もしあのどこか気にある点があればご紹介いただきたい。」

菅官房長官「あの、私の立場でコメントするような問題ではないと思います。」

このトピックについて当てられた時間は 161 秒で、時間配分などは以下の通りであった。



総裁選については他の放送日とあわせての評価が必要と考えられる。

・ユニセフの子供調査：結論→特に問題なし

ユニセフの子供調査について以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

ナレ「ユニセフ国連児童基金が公表した籍あの子供の幸福度を調査した報告書、日本は精神的な幸福度で 38 カ

国 37 位でした。自殺率の高さや生活満足度の低さが影響しました、身体的な健康は一位でしたが学力などのスキルを含めた総合順位は 20 位でした。」

アナ・グロマタ氏（ユニセフ・イノチェンティ研究所）『『精神的な幸福』も健康の一部であり同じくらい重要だと考えてほしい。』

このトピックについて当てられた時間は 38 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・大阪都構想：結論→特に問題なし

山本キャスターによって「前回 2015 年の住民投票で廃案となった大阪都構想の制度案が今日、大阪市議会で可決され、二度目の住民投票が行われることになりました。大阪都構想は大阪府と大阪市による移行行政の解消を目的に、政令指定都市の大阪市を廃止して東京 23 区のような 4 つの特別区に再編するものです。前回 2015 年の住民投票では反対が賛成を 10000 票あまり上回り廃案になりましたが、今日、大阪市議会で制度案が可決されたことで大阪市の有権者による二度目の住民投票の実施が決まりました。」とのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 45 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

- ・菅官房長官生出演

スタジオの中で河井案里参院議員の選挙について取り上げられていた。今回の総裁選挙では、派閥関係の情報を豊富に盛り込んだ報道となっているが、それでも河井案里議員が当選後は二階派に所属しており、いまなお二階派の特別会員という地位にあるということについては一切触れられていなかった。

菅長官もスタジオでお話していたとおり「私とか応援に行く場所は危ないところばかりしか行かせてもらえないんです。ですから私が 2 回 3 回応援に行った場所っていうのはいっぱいありますよ、あのここだけというよりも。」と、選挙については幹事長や選対本部が主導するものであり、その総指揮を取る二階幹事長の派閥に河井案里議員は当選後に所属している、ということなのだから、自民党内の有力者と河井夫妻との関係については当然、二階幹事長との関係も重要なポイントであるにも関わらず、今回も河井案里議員が当選後は二階派に属したということは全く触れられていなかった。

TBS は安倍政権真の実力者を二階幹事長だと見ているから、二階幹事長に付度している、ということはないと思いたいが、この頑なに二階幹事長の存在を伏せようとする、まるで「二階隠し」の方針でもあるのかと思わせるような報道姿勢は一体何なのだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年9月4日
出演者：山本恵里伽、上村彩子、石井大裕 森田正光（気象予報士）		
検証テーマ：五輪とワクチン、自民党総裁選、核のゴミ、合流新党代表選挙		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風10号に厳重警戒 ・五輪とワクチン ・自民党総裁選 ・核のゴミ ・2003年の東京都内バラバラ遺体事件で南ア逃亡の容疑者の男を逮捕 ・高松市で姉妹を車中に放置した母親を逮捕 ・スポーツ報道 ・合流新党代表選挙 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五輪とワクチン：結論→特に問題なし <p>上村キャスターの「来年夏に延期になった東京オリンピック・パラリンピック。新型コロナ対策を話し合う初めての会議が開かれ、選手団の入国後2週間の待機を求めないことなどが検討されました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p>"報告「今、点火皿へ聖火が灯されました。」</p> <p>ナレ「多くの人の手によって遠くギリシャから日本に運ばれた聖火の灯火、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、来年夏に予定された東京オリンピック・パラリンピックについて動きがありました。国と東京都、大会組織委員会の三者でコロナ対策会議の初会合が開かれました。水際対策の他、会場や選手村の運営方法、医療体制などについて議論することなどを確認しました。」</p> <p>"杉田和博（官房副長官）「コロナをですねアンダーコントロール下においた、こういうような状況をいうものを目標にしている。」</p> <p>ナレ「特に課題となっているのは各国代表選手団の入国です。現在政府は150以上の国と地域に対し、外国人の入国を原則禁止としている他、入国後14日間の待機を原則としています。そこで、来年予定されるオリンピック・パラリンピックでは感染が完全に収束していない場合でも、14日間の待機を求めない枠組みを検討、その場合、選手らの行動範囲を限定することを視野に入れています。こうした対策の取りまとめを今年12月に行う方針です。」</p> <p>"大会開催に向けた動きに小池都知事は。」</p> <p>小池百合子（東京都知事）「実効性のある対策をまとめていく必要がございます。」</p> <p>ナレ「東京都が発表した新規感染者は136人、毎週数が増える金曜日としては7月3日以来、2ヶ月ぶりに100人台となりました。記者からはこんな質問も。」</p>		

記者「仮にこう、ワクチンがなかったとしても、小池知事はその五輪の開催というのとはできるというお考えでしょうか。」

小池百合子「これからも WHO など、また、IOC や色んな会議がありますので、それらの検討、そこでの様々な判断ということは仰ぐことになろうかと思えます。」 "

"ナレ「しのぎを削って、各国で開発が進む新型コロナウイルスワクチン。」

延広耕次郎（報告）「こちらのワクチンは2回接種する必要があるということです。」

ナレ「中国の展示会では中国産のワクチンが初公開されました。年間3億回分の生産能力がありブラジルなどで最終の臨床試験が進められていると言います。アメリカの製薬大手のファイザーも開発中のワクチン候補が最終段階の臨床試験に進んでいることを明らかにしました。来月末までに開発が成功するかどうか判明する見通しです。」 "

このトピックについて当てられた時間は秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ 自民党総裁選：結論→他の放送日とのあわせての判断が必要

山本キャスターの「続いては自民党の総裁選挙です。」とのコメントおよび上村キャスターの「本命と目される、菅官房長官、地方票に狙いを定める岸田政調会長と石破元幹事長、それぞれ支持拡大に向け、活発な動きを見えています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「理髪店でリラックスした様子を見せた石破元幹事長。」

理容師「先生、頑張ってくださいよ、総理になっていただかないと。」

石破茂（元幹事長）「ありがとう、言われ続けて15年、なかなか実現せず。」

ナレ「散髪にちなんで記者から問われたのは。」

記者「日本の政治ではどこを整えたいですか？」

石破茂「そうきたか、そうね整えたいのはやっぱりみんなが納得するってことだね。」

ナレ「午後には納得と共感をキャッチフレーズとした政策集、石破ビジョンを発表、防災賞の創設を掲げました。」

石破茂「知識、経験の共有、そしてまたすべての地域において同じ対応。そういうような体制を作るために今の内閣府防災担当ではない、きちんと内閣のもとに防災性を作り専任大臣を置く。」 "

"ナレ「一方、本命と目される菅官房長官、石破氏の防災省創設の提言について。」

菅義偉（官房長官）「防災体制の充実強化というのは重要な課題であって、関係省庁や地方自治体の連携のあり方についても不断の見直しを進めて万全の防災体制を築き上げていくことが大事だと思います。」

ナレ「菅陣営では無派閥の議員や各派閥幹部がそれぞれ党所属の議員を訪れ、支持を求めました。」

根本幸典（細田派衆院議員）「しっかりね応援をしておりますので。」

大串正樹（菅グループ衆院議員）「ありがとうございます。」 "

ナレ「今回の総裁選では地方票の行方が注目されます、当所属の国会議員394票と各都道府県連に割り当てられた3票の合計141票。あわせて、535票を争います。JNNの調べでは少なくとも45の都道府県の支部で党员、党友の意向を反映させた予備選挙を行うことがわかりました。党内からは『各地で予備選挙ができるなら、全党员の投票もできたはずだ』などと、党執行部による判断の妥当性を問う声が上がっています。」

"岸田文雄（政調会長）「早いうちに地方に足を運んで、そして、お願いをする、こうした努力が求められるので

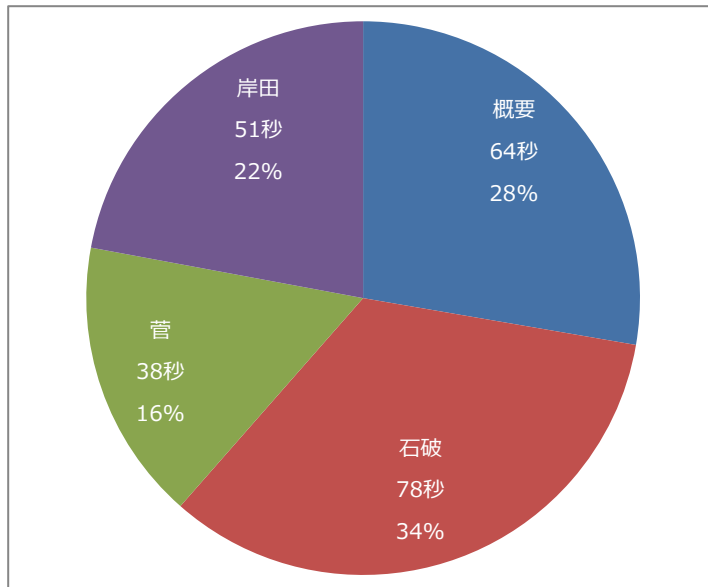
はないか、という。」

ナレ「党員に直接アピールして、地方票を獲得したい考えを明らかにした岸田政調会長、早速夕方には福岡県連を訪れ、支持を訴えました。」

岸田文雄「全国の国民、党員の皆様にしっかりと、自分の想いを訴えるそしてそのことが国会議員のそれぞれの見識、あるいは判断にこの訴えることになる、それを信じてしっかりと努力を続けていきたいと思っています。」

”

このトピックについて当てられた時間は 213 秒で、時間配分及び比率は以下の通りであった。



自民党総裁選については他の放送日の時間配分とあわせての判断および評価が必要と考えられる。

・核のゴミ：結論→特に問題なし

山本キャスターの「次は全国原発から出る高レベル放射性廃棄物、いわゆる核のゴミの最終処分場です、地下深くで数万年保管する施設の建設のため三段階の調査が行われます、そのうち、最初の文書による調査、文献調査に応じれば、最大 20 億円の交付金が出されます。これに手を上げているのが北海道の寿都町の片岡町長です、手をあげようとしているんです、北海道の鈴木知事と 3 日に会談したんですが、当然、お金の関係もあると検討を続けることを表明しました。一方で、鈴木知事は反対の意向を示しています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

”ナレ「夕方、梶山経済産業大臣の元を訪れた北海道の鈴木知事。およそ 30 分の会談後。」

鈴木直道（北海道知事）「今もう町が二分するような状況になっていますので。」

ナレ「町が二分する状況、背景にあるのはいわゆる核のゴミの最終処分場をめぐる問題です。」

”その受入調査に北海道寿都町が応募を検討していることが先月突如明らかになったのです、近隣の自治体や漁業組合が反対するなか、3 日、鈴木知事との会談に臨んだ片岡町長は。」

片岡春雄（寿都町町長）「どっかでパンドラの箱を開けると言いますかね、一石を投じないとまずいんじゃないかなって。」

ナレ「進まない核のゴミの議論に風穴を開けたいと主張。さらに。」

片岡春雄「まあ金が目的ではないかというお話も出てはいるんですが、これは絶対違うとは言いません。」

ナレ「最終処分場の選定をめくり行われる事前調査、第1段階の文献調査を受け入れると国から最大20億円の交付金が支給されますが、この多額の交付金を理由の一つだと隠しません。さらに、片岡町長はその先の調査に進む可能性にも言及、すべての調査が終わるまでにはおよそ20年を要することになります。」

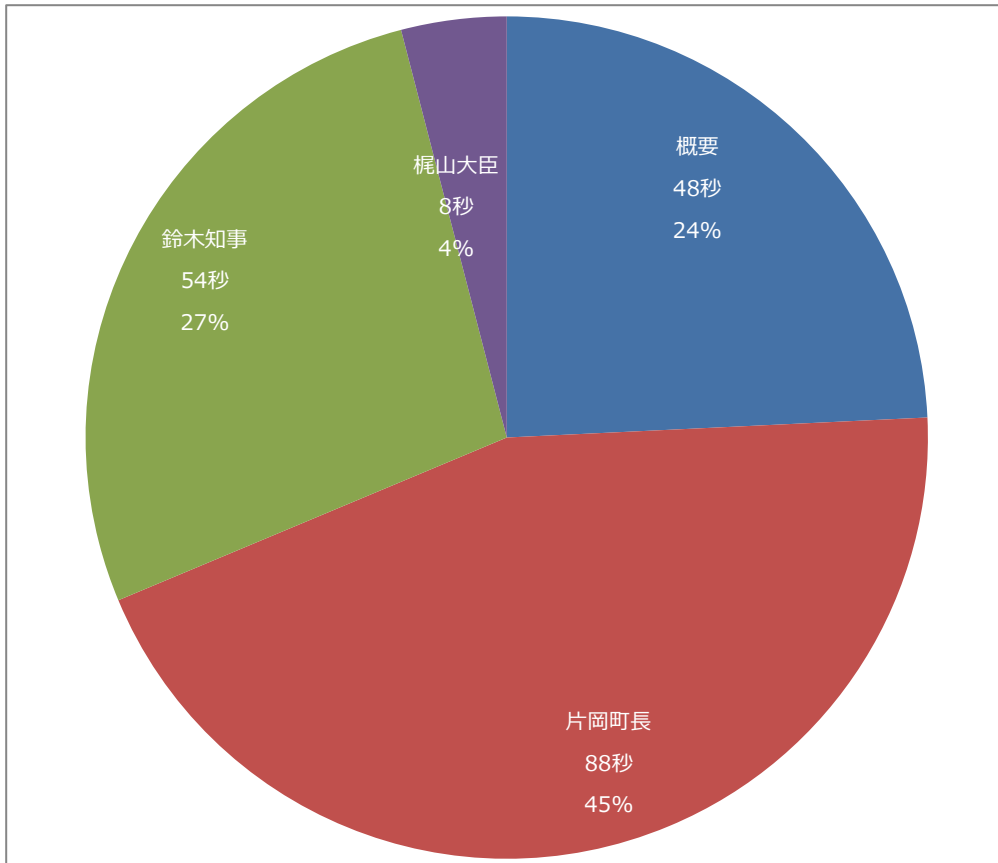
片岡春雄「もう私はその時には死んでます、多分、だから今の若い人たちが責任を持って、そこで前に進むか進まないか、それだこの実力をつけてください。」

ナレ「これに対し鈴木知事は反対する意向を示しています。夕方の会談後、鈴木知事は。」

鈴木直道「処分地の決定というか、その選定にかかる話ですけれども、これはやはり国が主体的にやることが望ましいというふうに考えている、と。」

ナレ「一方で梶山経産大臣は引き続き理解を得るために説明を尽くしていきたいとしました。」

このトピックについて当てられた時間は198秒で時間配分と比率は以下の通りであった。



今回は寿都町の片岡町長と北海道の鈴木知事では片岡町長の主張及び動向を取り上げたシーンが多かったが、放送法に反するほどのものではないと考えられる。

・合流新党代表選挙：結論→問題あり

山本キャスターの「今月10日に投開票が行われる野党の合流浸透の代表選挙に立憲民主党の枝野代表と国民民主党の泉政調会長が立候補を表明しました。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げら

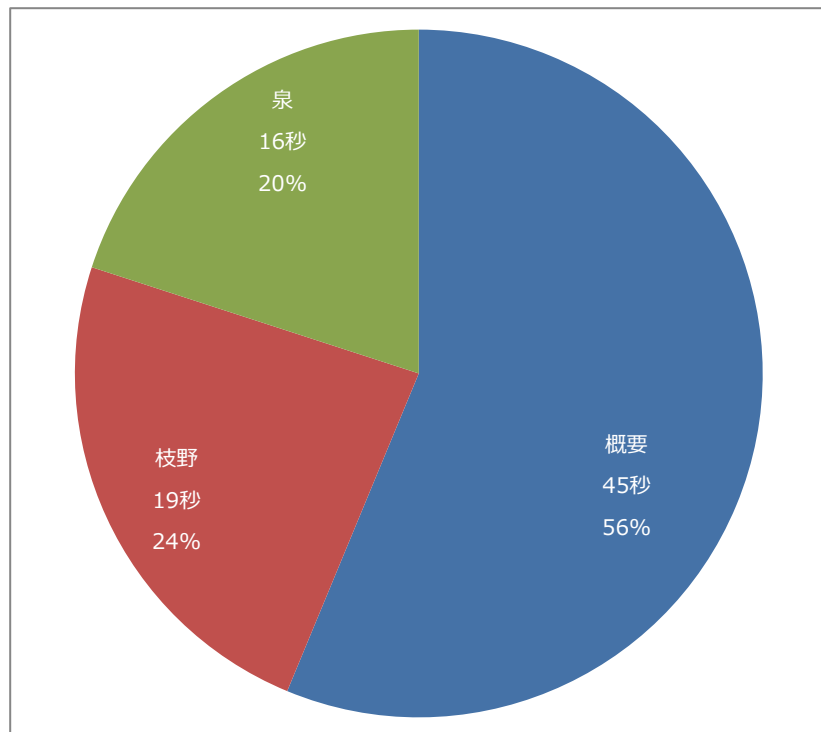
れていた。

枝野幸男（立憲民主党代表）「新型コロナウイルス感染症による危機的状況乗り越え、誰もが希望を持てる未来を国民とともに作る政党になる、そのために私はすべての情熱と力を注ぎ、右でも左でもなく、前へと進みます。」ナレ「枝野氏は新型コロナの影響で冷え込んだ経済の刺激策として期限付きの消費税減税や年収 1000 万円までの所得税免除などを主張。合流新党の党名は立憲民主党を提案しています。」

"泉健太（国民民主党政調会長）「長期政権を許してきた大きな理由はまさに野党にある、だからこそ野党自身が国民に愛され、親しまれる野党でなくてはいけない。」

ナレ「泉氏は新しい党名に民主党を掲げています。合流新党には衆参あわせて 149 人が参加。この 149 人に代表選の投票権が与えられることになります。」"

このトピックについて当てられた時間は 80 秒で、時間配分と比率は以下の通りであった。



このトピックの中での枝野氏と泉氏の取り上げ方については特に問題はないものの、この一週間の間、自民党の総裁選挙については総裁選挙の方法や派閥の動向を含めて相当程度の時間を割いているのみならず、三候補全員をスタジオに生出演させているのに対して、この野党第一党の代表選挙の取り上げ方は軽すぎやしないだろうか。

自民党総裁選挙の取り上げ方と比較すれば、ここまで野党第一党の代表選出を軽く取り上げるということは、放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」という点に照らして非常に問題があるといえるだろう。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・合流新党代表選挙

合流新党は野党第一党となる政党であり、国政選挙による政権交代が起きた場合の新たな政権の中心となる可能性が高い政党である。であれば、その政党を率いる党首が誰になるのかということは次の自民党の総裁と同程度に重要なことであろう。

幸いにも今回は自民党の総裁選と合流新党の代表選が同時進行的に行われているのだから、有権者にとっては自民党の総裁選で交わされている議論と合流新党の代表選で交わされている議論を比較することで、それぞれの政党が目指している政治というものをより良く知るいい機会である。こうした中で、取り上げ方が自民党一辺倒であり、合流新党を申し訳程度にしか取り上げないという報道の姿勢はいかかなものなのだろうか。これでは視聴者および有権者は野党の情報が上手く伝わらず、野党への期待の持ちようもないのではないだろうか。

思い返してみれば、そもそもこの合流新党を巡る動きについても、報道は十分に取り上げてきて伝えてきたと言えるのかも甚だ疑問であり、こうした自民党内の動きばかり取り上げて野党の動きを取り上げない、という報道姿勢もまた自民党の一強政治あるいは安倍一強を支え続けていたと言えるのではないだろうか。